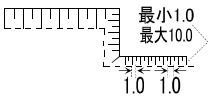
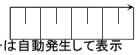
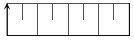
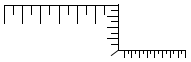
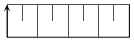
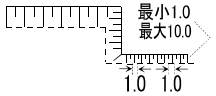
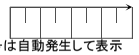
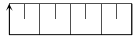
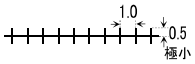
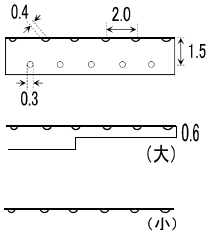
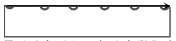
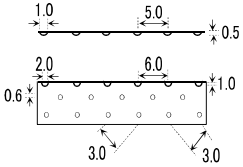
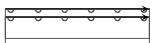
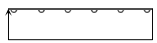
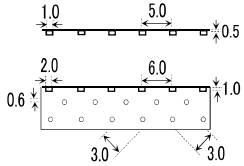
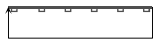
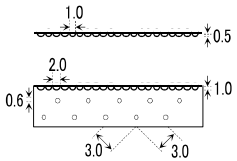
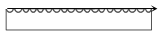
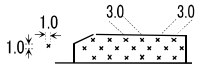
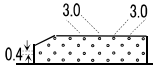
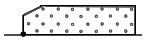
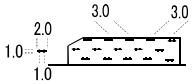
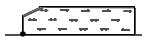
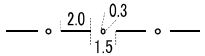
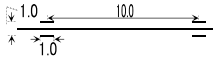
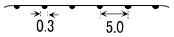
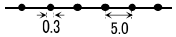
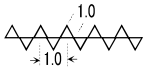
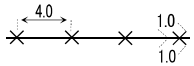
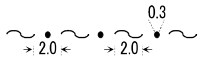
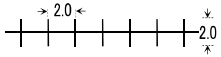
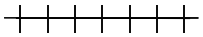
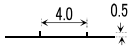
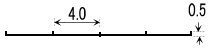
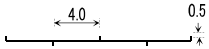
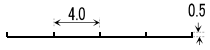
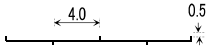
大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	端点一致	備考
土地利用等	法面	61	01	人工斜面	一般 道路 河川					上端線　低い方を右に取得  補助記号は自動発生して表示	11	線	E2	有		3	盛土部及び切土により人工的に作られた急斜面（道路、鉄道等の盛土部及び切土部、造成地の急斜面等）をいう。頂部を実線で、傾斜部分は、長ケバと短ケバを交互に長ケバの正射影の長さの1/2間隔に表示する。長ケバの長さは斜面の正射影幅、短ケバの長さはその1/2とし、長ケバの長さは最小1.0mm最大10.0mmとする。	○	
										下端線　高い方を右に取得 	12								
							一般			上端線　低い方を右に取得 補助記号は自動発生して表示する	11					2	1.人工斜面とは、盛土及び切土により人工的に作られた急斜面（道路、鉄道等の盛土部及び切土部、土堤、土囲、ダム、造成地の急斜面等）をいい、原則として斜面の傾斜が2/3以上、高さが1.5m以上であって長さが図上1.0cm以上のものについて表示する。ただし、この基準に満たないものであっても、地域の景況を表す必要があると認められるものについては表示することができる。 2.土砂採取場等の変化する急斜面は、土がけ図式分類コード72-01）又は岩がけ（図式分類ード72-11）の記号を適用する。 3.正射影の幅が図上0.5mm未満のものは省略することができる。 4.人工斜面は、頂部を実線で表示し、傾斜部分は、長ケバと短ケバを交互に長ケバの正射影の長さの1/2間隔に表示する。長ケバの長さは斜面の正射影幅、短ケバの長さはその1/2とし、長ケバの長さは最小1.0mm最大10.0mmとする。 5.斜面の頂部が道路縁の場合は、道路縁をもって頂部を兼ねさせる。		
										下端線　高い方を右に取得 	12								
			02	土　　堤	一般 道路 河川					上端線　低い方を右に取得  補助記号は自動発生して表示	11	線	E2	有		3	被覆のない堤防及び敷地等の周囲にある盛土をいう。ケバの長さは最小1.0mm最大10.0mmとし表示する。	○	
										下端線　高い方を右に取得 	12								
							一般			――――						2	土堤等とは、被覆のない堤防及び敷地等の周囲にある盛土をいい、人工斜面（図式分類コード61-01）の記号で表現できない形状のものについて表示する。		
			03	表法肩の法線	河川				――――	法線を取得 ――――		線	E2			3	河川法第3条第2項の河川管理施設である堤防の表法肩の法線をいう。		

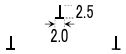
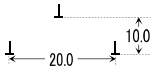
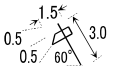
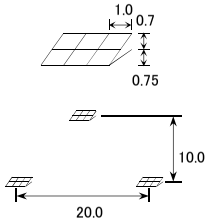
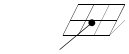
大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	端点一致	備考
土地利用等	法面	61	10	被覆			一般			直ヒ　低い方を右に取得 射影部(上端線)低い方を右に取得  補助記号や内部りん形点は自動発生して表示 射影部(下端線)高い方を右に取得 	 11 12	線	E2	有		4 2	1.被覆とは、道路、河岸、海岸等の斜面を保護するためのコンクリート、石積等の堅ろうな工作物をいい、その高さが1.5m以上、長さが図上1.0cm以上のものを表示する。ただし、この基準に満たないものであっても、周囲の景況により必要と認められるものについては表示することができる。 2.被覆は、上縁を4号線、他を2号線で描き、上縁の線には直径0.4mmの半円を2.0mm間隔に付す。また、その内部に直径0.3mmの円点を上縁より1．5mm間隔に表示する。この場合、円点は下縁から0.2mm以上離すものとする。この表示を被覆(大)という。 ただし、幅が図上0.6mm以上1.0mmまでのものは、円点を表示しない。 3.前項で、図上0.4mm未満のものは、被覆(小)の記号で表示する。	○	
			11	コンクリート被覆	一般 道路 河川					直ヒ　低い方を右に取得 射影部(上端線)低い方を右に取得  補助記号や内部りん形点は自動発生して表示 射影部(下端線)高い方を右に取得 	 11 12	線	E2	有		3	道路河岸、海岸等の斜面を保護するための堅ろうな工作物のうち、コンクリート製のものをいう。周縁を描き、上縁の線に半円を配し、その内部に円点を表示する。	○	
			12	ブロック被覆	一般 道路 河川					直ヒ　低い方を右に取得 射影部(上端線)低い方を右に取得 補助記号や内部りん形点は自動発生して表示 射影部(下端線)高い方を右に取得 	 11 12	線	E2	有		3	斜面又は側面を保護するためのブロック製の被覆をいう。周縁を描き、上縁の線に四角を配し、その内部に円点を表示する。	○	

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	1000	2500	5000	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	端点一致	備考
土地利用等	法面	61	13	石積被覆	一般 道路 河川					直ヒ　低い方を右に取得 		線	E2	有		3	斜面又は側面を保護するための石積みの被覆をいう。		
										射影部(上端線)低い方を右に取得  補助記号や内部りん形点は自動発生して表示	11							○	
										射影部(下端線)高い方を右に取得 	12								
			21	法面保護(網)	一般 道路 河川					真形　外周を取得(始終点座標一致) 補助記号や内部りん形点は自動発生して表示		面	E1			3	盛土又は切土部の法面を網で覆っているものをいう。		
			22	法面保護(モルタル)	一般 道路 河川					真形　外周を取得(始終点座標一致)  補助記号や内部りん形点は自動発生して表示		面	E1			3	モルタルで法面を覆っているものをいう。		
			23	法面保護(ｺﾝｸﾘｰﾄ桝)	一般 道路 河川					真形　外周を取得(始終点座標一致)  補助記号や内部りん形点は自動発生して表示		面	E1			3	コンクリート桝で法面を覆っているものをいう。		

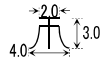
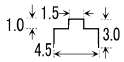
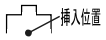
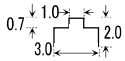
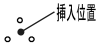
大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	端点一致	備考
土地利用等	構囲	61	30	柵(未分類)	一般 道路 河川					中心を取得 		線	E2			3	建物及び敷地の周辺を区画するための生垣、鉄柵等の工作物をいう。		
				垣			一般									4	1.垣とは、建物及び敷地の周辺を区画するためのトタン塀、生垣、鉄柵等の工作物をいい、高さがおおむね1.5m以上、長さが図上おおむね1.0cm以上のものを表示する。 2.前号において、建物が密集し表示することが困難な場合には，省略することができる。		
			31	落下防止柵	一般 道路 河川					中心を取得 補助記号は自動発生して表示		線	E2			3	柵の構造、材質に関わらず落石を遮ることを目的に設置されたものをいう。		
			32	防護柵	一般 道路 河川					ガードレール　道路を左に見て中心を取得 両端の被開部、補助記号は自動発生して表示	26	線	E2	有		3	防護柵をいう。(ガードレール、ガードパイプ)		
										ガードパイプ　中心を取得 	27								
			33	遮光柵	一般 道路 河川					中心を取得 補助記号は自動発生して表示		線	E2			3	光を遮ることを目的として設置された柵をいう。		
			34	鉄　柵	一般 道路 河川					中心を取得 補助記号は自動発生して表示		線	E2			3	金属製の柵をいう。		

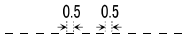
大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	1000	2500	5000	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	端点一致	備考
土地利用等	構囲	61	36	生垣	一般 道路 河川					中心を取得 		線	E2			3	生垣、竹垣等をいう。		
			37	土囲	一般 道路 河川					中心を取得  補助記号は自動発生して表示		線	E2			3	盛土による構囲をいう。		
			40	塀(未分類)	一般 道路 河川					内側を右にみて中心を取得 補助記号は自動発生して表示		線	E2	有		4	建物及び敷地の周辺を区画するための囲壁をいう。		
				塀		一般				内側を右にみて中心を取得 補助記号は自動発生して表示							1.塀とは、建物及び敷地の周辺を区画するためのついじ及び石、コンクリート等で作られた堅ろうな工作物をいい、高さがおおむね2.0m以上、長さが図上おおむね4.0cm以上のものを表示する。 2.塀のうち、高さがおおむね2.0m未満、長さが図上おおむね4.0cm未満のものは垣(図式分類コード61-30)の記号により表示する。		
			41	堅ろう塀	一般 道路 河川					内側を右にみて中心を取得 補助記号は自動発生して表示		線	E2	有		6	石、コンクリート、れんが、ブロック等により作られた堅ろうな囲壁をいう。		
										中心を取得 両側に敷地がある場合 補助記号は自動発生して表示	46							
			42	簡易塀	一般 道路 河川					内側を右にみて中心を取得 補助記号は自動発生して表示		線	E2	有		3	板、トタン等で作られた囲壁をいう。		
										中心を取得 両側に敷地がある場合 補助記号は自動発生して表示	46							

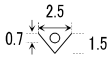
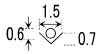
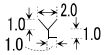
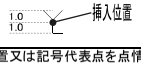
大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	端点一致	備考
土地利用等	諸地	62	01	区域界	一般道路河川				2.5 2.5	界線を取得		線	E2			3	区域界は、場地等のうち特に他の地区と区別する必要のある場合で、その区域が地物縁で表示できない場合に適用する。		
						一般道路河川			1.5 1.5										
							一般									2			
			11	空地	一般道路河川				4.0 (空) 3.0	記号表示位置を点情報で取得 (空) 挿入位置		点	E5			3	特に定められた記号のない場地をいい、建物密集地の必要な部分に表示する。		
			12	駐車場	一般道路河川				4.0 (駐) 3.0	記号表示位置を点情報で取得 (駐) 挿入位置		点	E5			3	車両の駐車のための場地で一般に利用可能なもの、月極駐車場等のうちおおむね図上2.0cm平方以上のものをいう。立体駐車場は建物に記号を表示する。		
							一般		P 2.5	記号表示位置を点情報で取得 P 挿入位置						4	1.駐車場は、一般車が利用可能なもの及び月極駐車場等で、おおむね図上4.0mm×4.0mm以上のものを表示する。 2.駐車場は、その区域を地物縁等で表示できない場合は、区域界(図式分類コード62-01)の記号により外周を表示し、その内部に駐車場の記号を表示する。 3.立体駐車場で大規模なものは、建物の内部に記号を表示する。また、タワー状で駐車場の記号が建物の記号の内部に入らない場合は指示点を付し記号を表示する。 4.公共施設、工場及び店舗等の敷地内にある駐車場は表示しない。		
			13	花壇	一般道路河川				3.0 (花) 2.0	記号表示位置を点情報で取得 (花) 挿入位置		点	E5			3	公園、広場等で鑑賞のために花を植えてある場所をいう。		

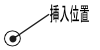
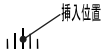
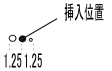
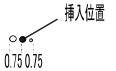
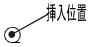
大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	データタイプ 図形区分	データタイプ データ	データタイプ レコード	データタイプ 方向	データタイプ 属性数値	線号	適用	端点一致	備考
土地利用等	諸地	62	14	園庭	一般 道路 河川					記号表示位置を点情報で取得 		点	E5			3	庭園、公園、宅地、道路の分離帯、工場等の周辺にある鑑賞あるいは隠ぺいのため栽培する灌木の集合しているところをいう。		
							一般										園庭とは、 庭園、公園、宅地、道路の分離帯、工場等の周辺にある観賞あるいは隠ぺいのため栽培する灌木の集合しているものをいい、記号を意匠的に配置して表示する。ただし、園庭の記号で表示することが不適当な居住地等の周辺の樹木は、広葉樹林(図式分類コード63-31)、針葉樹林(図式分離コード63-32)等の記号を適宜適用する。		
			15	墓地	一般 道路 河川					記号代表点を取得 作図データでは、区域線と墓碑で取得しても良い。 		点	E5			3	墓の集合していることころをいう。		
			—				一般			墓碑(図式分類コード42-01)参照		—	—			—	1.墓地は、その区域を地物縁で表示できない場合は、植生界(図式分類コード63-01)の記号により外周を表示し、その内部に墓碑(図式分類コード42-01)の記号を表示する。 2.図上おおむね3.0cm×3.0cm以上のものについては、墓碑(図式分類コード42-01)の記号を定間隔に配列して表示する。ただし、区域の形状によって定間隔に記号を表示することが困難な場合は、適宜記号の間隔をせばめて表示することができる。		
			16	材料置場	一般 道路 河川					記号表示位置を点情報で取得 		点	E5			3	木材、石材、鉱石等を集積するための土地又は水面で、おおむね図上2.0cm平方以上のものをいう。工場等の敷地内にある材料置場は表示しない。注記を併記する。		
							一般										1.材料置場とは、木材、石材、鉱石等を集積するための土地又は水面をいい、おおむね図上2.0cm×2.0cm以上のものについて表示する。 2.工場等の敷地内にある材料置場は表示しない。		
			17	太陽光発電設備	一般 道路 河川		一般			記号表示位置を点で取得する 		点	E5			2	1.太陽光発電設備は土地に設けられた、原則として長辺で図上1cm以上のものを表示する。外周は区域界(図式分類コード62-01)の記号を適用する。 2.図上おおむね3.0cm×3.0cm以上のものについては、区域の形状によって記号を定間隔に配列して表示する。		

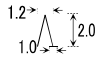
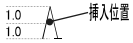
大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	データタイプ 図形区分	データタイプ データ	データタイプ レコード	データタイプ 方向	データタイプ 属性数値	線号	適用	端点一致	備考
土地利用等	場地	62	21	噴火口・噴気口	一般道路河川					記号表示位置を点情報で取得 		点	E5			3	現に噴火・噴気しているものをいう。		
						一般道路河川													
							一般			記号表示位置を点情報で取得 							1.噴火口及び噴気口は、現に噴火・噴気しているものについて、当該位置に記号を表示する。 2.噴火又は噴気が広範囲にわたる場合は、主要なものを表示する。		
			22	温泉・鉱泉	一般道路河川					記号表示位置を点情報で取得 		点	E5			3	温泉法に基づく温泉又は鉱泉の泉源をいう。注記を併記する。		
						一般道路河川													
							一般										1.温泉・鉱泉とは、温泉法に基づく温泉及び鉱泉をいい、主要なものを表示する。 2.温泉及び鉱泉の記号は、泉源の位置に表示するのを原則とする。ただし、泉源と浴場が離れている場合には、浴場の位置にも表示することができる。		

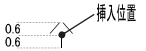
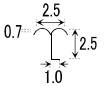
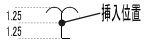
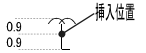
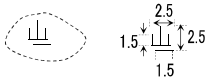
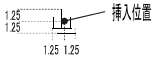
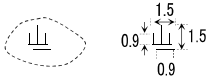
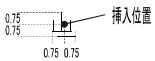
大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	データタイプ 図形区分	データタイプ データ	データタイプ レコード	データタイプ 方向	データタイプ 属性数値	線号	適用	端点一致	備考
土地利用等	場地	62	23	陵　墓	一般道路河川					記号表示位置を点情報で取得 		点	E5			3	天皇又は皇族の墓が独立あるいは数個存在するもので著名なものは注記を併記する。		
						一般道路河川													
			24	古　墳	一般道路河川					記号表示位置を点情報で取得 		点	E5			3	古代の支配階級を葬ってある盛土された墓で有名なものは注記を併記する。		
			25	城・城跡	一般道路河川					記号表示位置を点情報で取得 		点	E5			3	古城あるいはその形跡が現存しているもので著名なものは注記を併記する。		
						一般道路河川													
			26	史跡・名勝・天然記念物	一般道路河川					記号表示位置を点情報で取得 		点	E5			3	文化財保護法で指定されているものをいう。		
			31	採　石　場	一般道路河川				1.0 採石場 2.5	記号表示位置を点情報で取得 採石場 挿入位置		点	E5			4	土木建築用等の石材を採取する場所で、現在採掘中のものをいう。		
			32	土　取　場	一般道路河川				1.0 土取場 2.5	記号表示位置を点情報で取得 土取場 挿入位置		点	E5			4	土木建築用等の土を採取する場所で、現在採掘中のものをいう。		
			33	採　鉱　地	一般道路河川				1.0 採鉱地 2.5	記号表示位置を点情報で取得 採鉱地 挿入位置		点	E5			4	鉱石を採掘する場所で、現在採掘中のものをいう。		

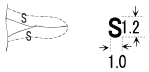
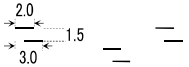
大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	端点一致	備考
土地利用等	植生	63	01	植生界	一般 道路 河川					中心を取得		線	E2			3	異なった植生の区分に適用する。未耕地間の植生界は原則として表示しない。		
							一般									2	1.植生界は、異なった植生の区分に適用する。ただし、未耕地間の植生界は原則として表示しない。 2.植生界が区域界(図式分離コード62-01)と合一する場合は，区域界を優先して表示する。		
			02	耕地界	一般 道路 河川					中心を取得		線	E2			3	同一種類の耕地の境で、一区画の短辺が図上おおむね2.0cm以上のものをいう。		
							一般									2	耕地界とは、同一種類の耕地の境界をいい、一区画の短辺が図上おおむね2.0cm以上のものを表示するのを原則とす。ただし、この基準に満たないものであっても用図上必要と認められるものについては表示することができる。		
			11	田	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	湿田、乾田及び沼田とし、季節により畑作物を栽培する田をいう。		
							一般										田は、水稲、蓮、い草、わさび、せり等を栽培している土地に適用し、季節により畑作物を栽培する土地を含む。		
			12	はす田	(一般) (道路) (河川)					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	はすを栽培する土地をいう。「製品仕様書」による。		
			13	畑	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	麦、陸稲、野菜、芝等を栽培している土地をいう。		
							一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 							畑は、麦、陸稲、野菜、芝、牧草等を栽培している土地に適用する。		

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	データタイプ 図形区分	データタイプ データ	データタイプ レコード	データタイプ 方向	データタイプ 属性数値	線号	適用	端点一致	備考
土地利用等	植生	63	14	さとうきび畑	(一般) (道路) (河川)					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	さとうきびを栽培している土地をいう。「製品仕様書」による。		
							一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 							さとうきび畑は、さとうきびを栽培している土地に適用する。		
			15	パイナップル畑	(一般) (道路) (河川)					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	パイナップルを栽培している土地をいう。「製品仕様書」による。		
							一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 							パイナップル畑は、パイナップルを栽培している土地に適用する。		
			16	わさび畑	(一般) (道路) (河川)					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	わさびを栽培している土地をいう。「製品仕様書」による。		
			17	桑　　畑	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	桑畑は、桑を栽培している土地に適用する。		
							一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 									
			18	茶　　畑	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	茶畑は，茶を栽培している土地に適用する。		
							一般												

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	データタイプ 図形区分	データタイプ データ	データタイプ レコード	データタイプ 方向	データタイプ 属性数値	線号	適用	端点一致	備考
土地利用等	植生	63	19	果樹園	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	果樹園は、果樹を栽培している土地に適用する。		
						一般				記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 									
			21	その他の樹木畑	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	その他の樹木畑は、桐、はぜ、こうぞ、庭木等を栽培している土地及び苗木畑に適用する。		
						一般													
			22	牧草地	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	牧草を栽培している土地をいう。		
			23	芝地	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	芝地は、芝を植えて管理している庭園、ゴルフ場、運動場等に適用する。		
						一般				記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 									
			31	広葉樹林	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	樹高2.0m以上の広葉樹が密生している土地をいう。		
						一般											広葉樹林は、樹高2.0m以上の広葉樹が密生している地域に適用する。ただし、植林地は樹高2.0m未満でも適用する。		

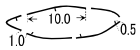
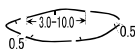
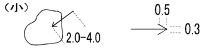
大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	データタイプ 図形区分	データタイプ データ	データタイプ レコード	データタイプ 方向	データタイプ 属性数値	線号	適用	端点一致	備考
土地利用等	植生	63	32	針葉樹林	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	樹高2.0m以上の針葉樹が密生している土地をいう。		
							一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 							針葉樹林は、樹高2.0m以上の針葉樹が密生している地域に適用する。ただし、植林地は樹高2.0m未満でも適用する。		
			33	竹　　林	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	樹高2.0m以上の竹が密生している土地をいう。		
							一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 							竹林は、樹高2.0m以上の竹が密生している地域に適用する。ただし、植林地は樹高2.0m未満でも適用する。		
			34	荒　　地	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	裸地、雑草地等の地域に適用する。		
							一般												
			35	はい松地	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	はい松地は、はい松又はわい性松の密生している地域に適用する。		
							一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 										

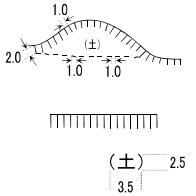
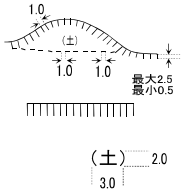
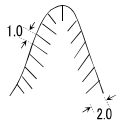
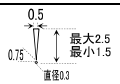
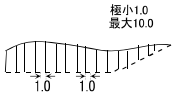
大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	データタイプ 図形区分	データタイプ データ	データタイプ レコード	データタイプ 方向	データタイプ 属性数値	線号	適用	端点一致	備考
土地利用等	植生	63	36	しの地(笹地)	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	しの地は、しの又は笹の密生している地域に適用する。		
							一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 									
			37	やし科樹林	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	やし科樹林は、やし科、へご科、たこのき科等の植物が密生している地域に適用する。		
							一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 									
			38	湿　　地	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	1.湿地は、常時水を含み、土地が軟弱で湿地性の植物が生育している土地に適用する。 2.湿地の範囲は、植生界(図式分類コード63-01)の記号を適用して表示する。		
							一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 									

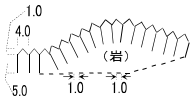
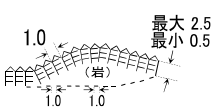
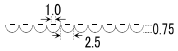
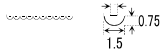
大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	データタイプ 図形区分	データタイプ データ	データタイプ レコード	データタイプ 方向	データタイプ 属性数値	線号	適用	端点一致	備考
土地利用等	植生	63	40	砂れき地(未分類)	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	1.砂れき地は、砂又はれきで覆われている土地に適用する。 2.砂れき地は、その範囲を植生界(図式分類コード63-01)の記号を適用して表示し、中央部に砂れき地の記号を表示する。		
				砂れき地			一般												
			41	砂　　地	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	砂で覆われている土地をいう。		
			42	れ き 地	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	れきで覆われている土地をいう。		
			45	干　　潟	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	低潮位において海面上に表れる砂泥地をいう。		

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	端点一致	備考
地形等	等高線	71	01	等高線(計曲線)	一般 道路 河川				120	等値線を取得 標高値は属性数値(単位:mm)		線	E2		有	4	0mの主曲線及びこれより起算して5本目ごとの主曲線をいう。地図情報レベル1000以下は5mごと、2500では10mごと、5000では25mごとの等高線を表示する。	○	等深線を含む。
										120 2.0 (地図情報レベル500) 120 1.5 (地図情報レベル1000)		注記	E7			4			
							一般			等値線を取得 標高値は属性数値(単位:mm)		線	E2		有	4		○	
										120 1.5		注記	E7			4			
			02	等高線(主曲線)	一般 道路 河川					等値線を取得 標高値は属性数値(単位:mm)		線	E2		有	2	平均海面から起算して1mごとの等高線をいう。	○	等深線を含む。
										17 2.0 (地図情報レベル500) 17 1.5 (地図情報レベル1000)		注記	E7			4			
							一般			等値線を取得 標高値は属性数値(単位:mm)		線	E2		有	2	地図情報レベル2500では平均海面から起算して2mごと、5000では5mごとの等高線を表示する。	○	
										82 1.5		注記	E7			4			
			03	等高線(補助曲線)	一般 道路 河川				1.0 10.0	等値線を取得 標高値は属性数値(単位:mm)		線	E2		有	2	補助曲線は、緩傾斜地又は複雑な地形を示す地域等で主曲線だけでは地形を適切に表現できない部分について、主曲線の1/2の間隔に表示する。	○	等深線を含む。
										65 2.0 (地図情報レベル500) 65 1.5 (地図情報レベル1000)		注記	E7			4			
							一般		0.5 10.0	等値線を取得 標高値は属性数値(単位:mm)		線	E2		有	2		○	
										15 1.5		注記	E7			4			

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	端点一致	備考
地形等	等高線	71	04	等高線（特殊補助曲線）	一般 道路 河川				1.0 5.0	等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		線	E2		有	2	主曲線の1/4の間隔の等高線で、補助曲線で適切な地形表現ができない部分について適用する。	○	等深線を含む。
										11.75 2.0 （地図情報レベル500） 11.75 1.5 （地図情報レベル1000）		注記	E7			4			
			05	凹地（計曲線）	一般 道路 河川				10.0 0.5	高い方を左にみるように等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		線	E2	有	有	4	人工構築物との合成で生じた以外の凹地をいい、0mの主曲線及びこれより起算して5本目ごとの主曲線をいう。	○	等深線を含む。
										120 2.0 （地図情報レベル500） 120 1.5 （地図情報レベル1000）		注記	E7			4			
							一般		（大） 3.0-10.0 0.5	高い方を左にみるように等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		線	E2	有	有	4	1.凹地は、人工構築物との合成で生じた以外の凹地をいい、凹地を示す等高線の長径が図上5.0mm以上のものは、凹地（大）を、それ未満のものは凹地（小）を適用する。 2.凹地（大）は、等高線の内側に長さ0.5mmの短線をおおむね3.0mm間隔に付して表示する。ただし、凹地を示す等高線が長大な場合は、短線の間隔をおおむね10.0mmまで適宜広げることができる。	○	
										120 1.5		注記	E7			4			
			06	凹地（主曲線）	一般 道路 河川				10.0 0.5	高い方を左にみるように等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		線	E2	有	有	2	人工構築物との合成で生じた以外の凹地をいい、1mごとの等高線をいう。	○	等深線を含む。
										101 2.0 （地図情報レベル500） 101 1.5 （地図情報レベル1000）		注記	E7			4			
							一般		（大） 3.0-10.0 0.5	高い方を左にみるように等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		線	E2	有	有	2	凹地（計曲線）（図式分類コード71-05）の適用を参照。	○	
										101 1.5		注記	E7			4			

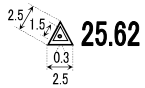
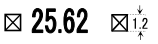
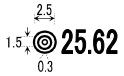
大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	1000	2500	5000	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	端点一致	備考
地形等	等高線	71	07	凹地（補助曲線）	一般 道路 河川					高い方を左にみるように等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 		線	E2	有	有	2	人工構築物との合成で生じた以外の凹地をいい、主曲線の1/2間隔の等高線をいう。	○	等深線を含む。
										6.5 2.0 （地図情報レベル500） 6.5 1.5 （地図情報レベル1000）		注記	E7			4			
							一般		（大） 	高い方を左にみるように等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 		線	E2	有	有	2	凹地（計曲線）（図式分類コード71-05）の適用を参照。	○	
										15 1.5		注記	E7			4			
			08	凹地（特殊補助曲線）	一般 道路 河川					高い方を左にみるように等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 		線	E2	有	有	2	人工構築物との合成で生じた以外の凹地をいい、主曲線の1/4間隔の等高線をいう。	○	等深線を含む。
										4.25 2.0 （地図情報レベル500） 4.25 1.5 （地図情報レベル1000）		注記	E7			4			
			99	凹地（矢印）			一般		（小） 	 終点側に矢を自動発生して表示する		線	E2	有		2	凹地（小）は、凹地を示す等高線と直行する長さ2.0mm～4.0mmの矢印を、高い方から最低部の方向に向けて表示する。		

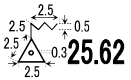
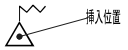
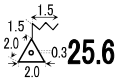
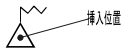
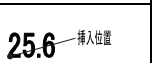
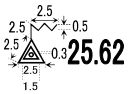
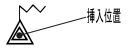
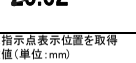
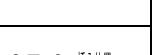
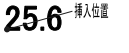
大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	端点一致	備考
地形等	変形地	72	01	土がけ(崩土)	一般 道路 河川					上端線 低い方を右に取得 補助記号は自動発生して表示	11	線	E2	有		2	土砂の崩壊等によって自然にできたがけ状の急斜面をいう。頂部を示す線と射影部を示す短線を頂部から最大傾斜方向へ2.0mmまで表示し、それ以上の射影部は下端を破線で表示する。	○	
										下端線 高い方を右に取得	12								
										図郭に対して平行垂直入力 挿入位置		点	E5			4			
							一般			上端線 低い方を右に取得 補助記号は自動発生して表示する	11	線	E2	有		2	1.土がけとは、土砂の崩壊等によって自然にできた急斜面をいい、急斜面の正射影を表示する。 2.土がけの表示は、頂部を実線で表示し、傾斜を示す短線は頂部を示す実線から最大傾斜方向に最大図上2.5mmを表示し、それ以上の場合は正射影の下端を破線で表示する。 3.前項において、正射影の幅が図上1.0cm以上の場合には、適宜の位置に(土)の記号を添えて表示する。	○	
										下端線 高い方を右に取得	12								
										図郭に対して平行垂直入力 挿入位置		点	E5						
			02	雨裂	一般 道路 河川					上端線 補助記号は自動発生して表示	11	線	E2	有		2	表土が雨水によって流出した裂溝の状態をいい、土がけの記号で表示する。	○	
										下端線	12								
							一般			2点目 下端(方向点) 1点目 上端中央 輪郭形状(三角形、円)は自動発生して表示		線	E2				雨裂とは、表土が雨水によって流出した状態をいい、その正射影を表示する。ただし、規模の大きなものは土がけ(図式分類コード72-01)の記号を適用する。		
			03	急斜面	一般 道路 河川					上端線 低い方を右に取得	11	線	E2	有		2	台地又はたい土等の周辺の傾斜が急で、等高線で表現するのが困難又は景況が明らかにならない地形をいい、土がけの記号で表示する。	○	
										下端線 高い方を右に取得 補助記号は自動発生して表示	12								

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	端点一致	備考
地形等	変形地	72	06	洞口	一般道路河川					記号表示位置の点と向きを示す方向を取得 		方向	E6	有		2	自然に形成された石灰洞、溶岩洞、トンネル等をいう。洞の向きに合わせて表示する。		
							一般			記号表示位置の点と向きを示す方向を取得 						4	洞口とは、自然に形成された穴をいい、著名なものは、その入口に正射影の方向に一致させて記号を表示する。ただし、鉛直方向のものは、図郭下辺に記号を直立させて表示する。		
			11	岩がけ	一般道路河川					上端線　低い方を右に取得 補助記号は自動発生して表示	11	線	E2	有		2	岩石地ががけ状になっている状態をいう。頂部を山型に、傾斜を示す短線を頂部から最大傾斜方向に表示する。	○	
										下端線　高い方を右に取得 	12								
										図郭に対して平行垂直入力 		点	E5			4			
							一般			上端線　低い方を右に取得 補助記号は自動発生して表示する	11	線	E2	有		2	1.岩がけとは、岩でできた急斜面をいい、急斜面の正射影を表示する。 2.岩がけの表示は、頂部を山型に表示し、傾斜を示す短線は頂部を示す線から最大傾斜方向に、壁面を示す短線は傾斜を示す短線と直角に表示する。傾斜を示す短線は、最大図上2.5mmを表示し射影部の下端を破線で表示する。 3.前項において、正射影の幅が図上1.0cm以上の場合には、適宜の位置に(岩)の記号を添えて表示する。	○	
										下端線　高い方を右に取得 	12								
										図郭に対して平行垂直入力 		点	E5						
			12	露岩	一般道路河川					高度の高い方を右にみる形で界線を取得 		線	E2	有		2	一部を地表に露出する岩石をいい、河岸及び海岸等で露出している岩石を含む。		
							一般			高度の高い方を右にみる形で界線を取得 							1.露岩とは、一部を地表に露出する岩石をいい、河岸及び海岸等で露出している岩石を含むものとする。 2.露岩の表示は、その景観を適宜総描又は修飾し、記号を組み合わせて表示する。この場合斜面上に表示する岩は、高い側の線を一部省略して表示する。		

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	端点一致	備考
地形等	変形地	72	13	散　岩	一般 道路 河川				(大) 1.0 0.75 2.5	高度の高い方を右にみる形で界線を取得		線	E2	有		2	地表に散在する岩石をいい、岩礁を含む。		
									(小) 2.5 1.25 1.0	極小　記号表示位置の点を取得 挿入位置		点	E5						
							一般		(大)	高度の高い方を右にみる形で界線を取得		線	E2				1.散岩とは、地表に散在する岩石をいい、岩礁を含むものとする。 2.散岩(大)の表示は、大きさが図上1.5mm×1.5mm以上のものに適用し、その景観を適宜総描修飾し、露岩(図式分類コード72-12)の記号を組み合わせて表示する。 3.散岩(小)の表示は、大きさが図上1.5mm×1.5mm未満のものに適用し、当該位置に記号を表示する。		
									(小) 1.5 1.5	極小　記号表示位置の点を取得 X Y		方向	E6						
			14	さんご礁	一般 道路 河川				4.0	高度の高い方を右にみる形で界線を取得		線	E2	有		2	数値写真上で判読できる程度のものについてその外縁を表示する。		
							一般			高度の高い方を右にみる形で界線を取得									

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	端点一致	備考
地形等	基準点	73	01	三角点	一般 道路 河川				2.5 0.3 25.62 2.5	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 挿入位置		点	E5		有	4	基本測量により設置された三角点をいう。盤石の亡失したものについては表示しない。		
										25.62 挿入位置		注記	E7						点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
							一般		25.6 0.3 2.0	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 挿入位置		点	E5		有		三角点とは、基本測量により設置された三角点をいい、すべて表示する。ただし、盤石の亡失したもの高架部下のものについては表示しない。		
										25.6 挿入位置		注記	E7						点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
			02	水準点	一般 道路 河川				2.0 2.0 25.621 0.3	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 挿入位置		点	E5		有	4	基本測量により設置された水準点をいう。標石の亡失したものについては表示しない。		
										25.621 挿入位置		注記	E7						点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
							一般		25.62 0.3 1.2	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 挿入位置		点	E5		有		水準点とは、基本測量により設置された水準点をいい、すべて表示する。ただし、標石の亡失したものトンネル内、高架部下のものについては表示しない。		
										25.62 挿入位置		注記	E7						点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
			03	多角点等	一般 道路 河川				2.5 25.62 0.3	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 挿入位置		点	E5		有	4	基本測量により設置された基準点のうち三角点及び水準点以外のものをいう。標石の亡失したものについては表示しない。		
										25.62 挿入位置		注記	E7						点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
							一般		25.6 0.3 1.2	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 挿入位置		点	E5		有		多角点及び標石を有する図根点等とは、基本測量により設置された基準点のうち三角点及び水準点以外のものをいい、すべて表示する。ただし、標石の亡失したもの、トンネル内、高架部下のものについては表示しない。		
										25.6 挿入位置		注記	E7						点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	端点一致	備考
地形等	基準点	73	04	公共基準点（三角点）	一般 道路 河川					基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 		点	E5		有	4	公共測量による1級基準点測量及び2級基準点測量により設置された基準点をいう。標石の亡失したものについては表示しない。		
												注記	E7					点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
						一般				基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 		点	E5		有		公共基準点（三角点）とは、公共測量による1級基準点測量及び2級基準点測量により設置された基準点をいい、すべて表示す。ただし、磐石の亡失したもの、高架部下のものについては表示しない。		
												注記	E7					点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
			05	公共基準点（水準点）	一般 道路 河川					基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 		点	E5		有	4	公共測量による1級水準測量及び2級水準測量により設置された基準点をいう。標石の亡失したものについては表示しない。		
												注記	E7					点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
						一般				基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 		点	E5		有		公共基準点（水準点）とは、公共測量による1級水準測量及び2級水準測量により設置された水準点をいい、すべて表示する。ただし、標石の亡失したもの、トンネル内、高架部下のものについては表示しない。		
												注記	E7					点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
			06	公共基準点（多角点等）	一般 道路 河川					基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 		点	E5		有	4	公共測量によって設置された多角点を、特別に区別して取り扱う場合に「多角点等」に準じて用いる。		
												注記	E7					点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
			07	その他の基準点	一般 道路 河川					基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 		点	E5		有	2	工事等の遂行のために、コンクリート杭等で堅固に作られた基準点をいう。		
												注記	E7					点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	端点一致	備考
地形等	基準点	73	08	電子基準点	一般 道路 河川					基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位:mm） 		点	E5		有	4	基本測量により設置された電子基準点をいう。		
												注記	E7					点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
						一般				基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は電子基準点付属標の標高（単位はmm） 		点	E5		有	4	基本測量により設置された電子基準点をいう。		
												注記	E7					点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
			09	公共電子基準点	一般 道路 河川					基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位:mm） 		点	E5		有	4	公共測量により設置された公共電子基準点をいう。 標高数値は、公共電子基準点付属標の標高を表示する。		
												注記	E7					点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
			11	標石を有しない標高点	一般 道路 河川					基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位:mm） 		点	E5		有	4	公共測量による3級及び4級基準点（三角点及び水準点）、標定点測量（簡易水準測量を含む）により、平面位置及び標高を所定の精度で測定した点をいい、必要に応じて表示する。簡易水準点の標高は小数点以下2位、その他は小数点以下1位とする。		
												注記	E7					
						一般				基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位:mm） 		点	E5		有	4	標石を有しない標高点とは、公共測量による3級及び4級基準点（三角点及び水準点）、標定点測量（簡易水準測量を含む）により、平面位置及び標高を所定の精度で測定した点をいい、必要に応じて表示する。		
												注記	E7					

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	地図情報レベル 500	地図情報レベル 1000	地図情報レベル 2500	地図情報レベル 5000	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	端点一致	備考
地形等	基準点	73	12	図化機測定による標高点	一般 道路 河川		一般		◦ 25.6 0.3 ◦	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） ●―― 挿入位置		点	E5		有	4	図化機測定による標高点は必要に応じて表示する。		
										25.6 ―挿入位置		注記	E7						
	数値地形モデル	75	01	グリッドデータ						グリッド間隔は、地図情報レベル相当の図面上で、2cmを標準とする。 ┼ グリッド		グリッド	G				数値地形モデル法によるグリッド上のデータで、グリッド点を記号で表示し、標高数値をm単位で小数点以下1位までとする。		
			11	ランダムポイント						標高値は属性数値（単位：mm） ●―― 挿入位置		点	E5		有		数値地形モデル法のグリッドデータを補完するための標高点であり、ランダム点を記号で表示し、標高数値をm単位で小数点以下1位までとする。標高値が小数点以下2位又は3位まである場合は、必要に応じて表示する。		
			21	ブレークライン						変形地、人工物等による地形の不連続部等の主な場所について、線状に標高測定を行う。 └┐		線	E2				数値地形モデル法におけるグリッドデータを補完するために取得するもので、形状を実線で表示する。		
			31	不整三角網（TIN）						地表面の三角形（TIN）三点を取得		不整三角網	T				地表面のグリッドデータ、ランダムポイント、ブレークライン、等高線等から生成する。		
										表層面の三角形（TIN）三点を取得	51						表層面のグリッドデータ、ランダムポイント、ブレークライン、等高線等から生成する。		
										水表面の三角形（TIN）三点を取得	52						陸域のグリッドデータ、ランダムポイント、ブレークライン、等高線等から生成する。		
－	－	81	99	指　示　点	一般 道路 河川		一般		0.3 ◦	●―― 挿入位置		点	E5			4	建物記号、注記を表示する場合に、その対象物の内部に表示ができず対象とするものが特定できない場合に表示する。		

大分類	分類コード レイヤ	項目	データ	分類	表示対象	字大 500	1000	2500	5000	字隔	データタイプ データ	レコード	注記法の区分 小対象物	地域（Ⅰ）	地域（Ⅱ）	線状	全角・半角	備考（記載例）
注記	22	55		交通施設	距離標(Km)	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
		56			距離標(m)	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
	34	04		水部	プール	2.0				1/4	注記	E7		○			全角	
	52	13		水部に関する構造物等	護岸杭（消波ブロック）	2.0				1/4	注記	E7				○	全角	
		14			護岸 捨石	2.0				1	注記	E7				○	全角	
		22			船揚場	2.0				1/4	注記	E7				○	全角	
		35			根固	2.0				1/4	注記	E7				○	全角	
		36			床固　陸部	2.0				1	注記	E7				○	全角	
		37			床固　水面下	2.0				1	注記	E7				○	全角	
		38			シャカゴ	2.0				1/4	注記	E7				○	全角	
	71	01		等高線数値	等高線（計曲線）	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
		02			等高線（主曲線）	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
		03			等高線（補助曲線）	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
		04			等高線（特殊補助曲線）	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
		05			凹地（計曲線）	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
		06			凹地（主曲線）	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
		07			凹地（補助曲線）	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
		08			凹地（特殊補助曲線）	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
	73	01		基準点等	三角点	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
		02			水準点	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
		03			多角点	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
		04			公共基準点（三角点）	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
		05			公共基準点（水準点）	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	点名称を入れる場合は全角文字とする
		06			公共基準点（多角点）	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
		07			その他基準点	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
		08			電子基準点	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
		09			公共電子基準点	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
		11			標石を有しない標高点	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
		12			図化標高点	2.0	1.5			1/4	注記	E7	○				半角	

大分類	分類コード レイヤ	項目	データ	分類	表示対象	字大 500	1000	2500	5000	字隔	データタイプ データ	レコード	注記法の区分 小対象物	地域（Ⅰ）	地域（Ⅱ）	線状	全角・半角	備考（記載例）
注記	81	10		行政区画	市･東京都の区	6.0	5.0			1/2～7	注記	E7		○			全角	
		11			町･村･指定都市の区	5.0	4.5			1/2～7	注記	E7		○			全角	
		12			市町村の飛地	3.5	3.0			1/4～7	注記	E7	○	○	○		全角	
		13		居住地名	大区域	4.5	4.0			1/4～5	注記	E7		○	○		全角	大字の上に公称としてあるもの
		14			大字･町･丁目	4.5	3.5			1/4～3	注記	E7		○	○		全角	町･丁目は大字に対応するもの
		15			小字･丁目	3.5	3.0			1/4～3	注記	E7		○	○	○	全角	丁目は小字に対応するもの
		16			通り	3.5	3.0			1/4～3	注記	E7		○	○	○	全角	
		17			その他の地名（大）	5.0	3.5			1/4～3	注記	E7		○	○		全角	通称及び俗称等に用いる
		18			その他の地名（中）	4.0	3.0			1/4～3	注記	E7		○	○	○	全角	
		19			その他の地名（小）	3.0				1/4～3	注記	E7		○	○	○	全角	
		21		交通施設	道路の路線名	3.5	3.0			1/2～5	注記	E7				○	全角	
		22			道路施設、坂、峠、ｲﾝﾀｰﾁｪﾝｼﾞ等	3.0	2.5			1/4～1	注記	E7	○	○	○	○	全角	
		23			鉄道の路線名	3.5	3.0			1/2～5	注記	E7				○	全角	
		24			鉄道施設 駅、操車場、信号所	3.0	2.5			1/4～3	注記	E7	○	○	○	○	全角	
		25			橋	3.0	2.5			1/4～5	注記	E7	○			○	全角	
		26			トンネル	3.0	2.5			1/4～5	注記	E7	○			○	全角	
		31		建物	建物の名称	3.0	2.5			1/4～3	注記	E7	○	○	○		全角	
		34			建物の付属物	3.0	2.5			1/4	注記	E7	○				全角	
		40		小物体	マンホール	2.0				1/4	注記	E7	○				全角	
		41			電　柱	2.0				1/4	注記	E7	○				全角	
		42			その他の小物体	3.0	2.5			1/4	注記	E7	○				全角	輸送管は線状対象物の注記法
		51		水部	河川、内湾、港	4.0	3.0	3.5		1/4～5	注記	E7	○	○	○	○	全角	
					一条河川			2.5		1/4～5	注記	E7	○	○		○	全角	
					湖　池			3.0		1/4～5	注記	E7					全角	
					岬、崎、鼻、岩礁	3.0	2.5			1/4～5	注記	E7	○	○	○		全角	
								2.5		1/4～1								
					河岸、河原、洲、滝、浜、磯	3.5	3.0			1/4～5	注記	E7	○	○		○	全角	
					山、島	3.5	3.0			1/4～5	注記	E7	○	○	○		全角	
		52			水部施設、ダム	3.0	2.5			1/4～1	注記	E7	○	○	○	○	全角	羽村堰 岩淵水門
					せき、水門、渡船発着所			2.5		1/4～1								
					堤防			2.5		1/4～5								
		53			地下水部	4.0	3.0			1/4～5	注記	E7				○	全角	

注記

大分類	分類コード レイヤ	項目データ	分類	表示対象	字大 500	字大 1000	字大 2500	字大 5000	字隔	データタイプ データ	データタイプ レコード	注記法の区分 小対象物	注記法の区分 地域（Ⅰ）	注記法の区分 地域（Ⅱ）	注記法の区分 線状	全角・半角	備考（記載例）
注記	81	61	土地利用等	法面、構囲	2.5	2.0			1/4～3	注記	E7	○	○	○		全角	
		62		諸地、場地 公園、牧場、飛行場 運動場、ゴルフ場等	3.5	2.5			1/4～5	注記	E7	○	○	○	○	全角	
				公園、運動場、牧場、飛行場、ゴルフ場、材料置場、温泉、採鉱地、採石地、城跡、史跡名勝、天然記念物等			2.5		1/4～5								
		63		植生	3.0	2.5			1/4～1	注記	E7	○	○	○		全角	森林、原野、果樹園
							2.5										
		71	山地	山	3.5	3.0			1/4～5	注記	E7	○	○	○		全角	
							3.0		1/4～3								
				尖峰、丘、塚	3.0	2.5			1/4～5	注記	E7	○	○	○		全角	
							2.5		1/4～1								
				谷、沢	3.0	2.5			1/2～3	注記	E7	○	○		○	全角	
							2.5										
		81		説明注記 (本文中に規定されているものを除く)	2.5	2.0			1/4～2	注記	E7	○	○	○	○	全角	（建設中）（宅地造成中） （油）（整理中）
				助字	親字の60%												
				ふり仮名	1.5												

注1　字隔は、対象物の大小、字数の多少及び資格等を考慮して表の範囲で選択する。ただし、小対象物の注記法による場合の字隔は、すべて1/4とする。
2　対象物の面積及び長さにより規定の字大の適用が困難な場合、又は不適切な場合は、字大を0.5mm小さくすることができる。
3　本表に記載されていないものは、表中の類似物の注記規定による。
4　各字大における文字の線の太さは、次の線号を標準とする。

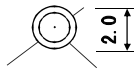
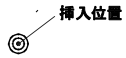
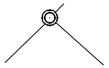
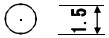
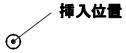
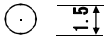
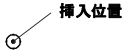
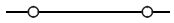
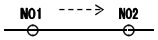
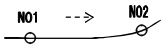
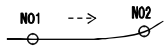
字　大	2.0mm	2.5～3.0mm	3.5～4.0mm	4.5～5.0mm
線の太さ	0.15mm	0.20mm	0.25mm	0.35mm

三角点、水準点、多角点、現地測定による標高点及び図化機により測定した標高点、等高線数値の線の太さは、0.20mmとする。

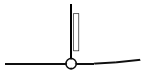
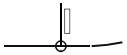
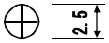
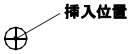
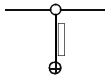
附属資料

公共測量標準図式　数値地形図データ取得分類基準表　応用測量

線形図

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード データ項目	名称	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	連続又は終点一致	備考
交通施設	線形図	25	01	ＩＰ（ＩＰ杭）		記号表示位置の点を取得 		点	E5			3	中心線測量のＩＰ点をいう。		
			02	ＩＰ方向線		ＩＰ点間の方向線を取得 		線	E2			3	ＩＰ点間に引いた方向線をいう。		
			03	主要点（役杭）		記号表示位置の点を取得 		点	E5			3	中心線測量のＢＣ，ＥＣ等の主要点をいう。		
						中心点の要素を取得（属性区分81、属性データの書式A55）		属性	E8		有		中心点の要素をいう。路線属性区分（必須）・路線番号（選択）・測点名（必須）・単距離（必須）・追加距離（必須）で構成され、属性は省略可能である。 書式は、"A2,I5,4X,A24,I8,I12"とする。 単距離は、前測点からの距離をmm単位で記述する。 追加距離は、路線の開始点からの追加距離をmm単位で記述する。		
			04	中心点（中心杭）		記号表示位置の点を取得 		点	E5			3	中心線測量のＢＣ，ＥＣ等の中心点をいう。		
						中心点の要素を取得（属性区分81、属性データの書式A55）		属性	E8		有		中心点の要素をいう。路線属性区分（必須）・路線番号（選択）・測点名（必須）・単距離（必須）・追加距離（必須）で構成され、属性は省略可能である。 書式は、"A2,I5,4X,A24,I8,I12"とする。 単距離は、前測点からの距離をmm単位で記述する。 追加距離は、路線の開始点からの追加距離をmm単位で記述する。		
			05	中心線	直線 	直線区間を始点から終点方向に取得 	61	線	E2	有		3	中心線の直線区間をいう。		
					円弧 	円弧区間を始点から終点方向に取得 	62	円弧	E4	有		3	中心線の円弧区間をいう。		
					クロソイド 	クロソイド区間を始点から終点方向に取得 	63	線	E2	有		3	中心線のクロソイド区間をいう。		形状に沿って連続した座標列で出力する。
					その他の緩和曲線 	その他の緩和区間を始点から終点方向に取得 	64	線	E2	有		3	中心線のその他の緩和区間をいう。		

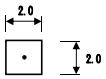
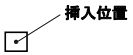
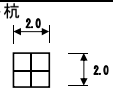
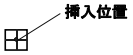
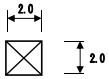
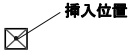
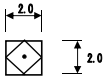
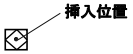
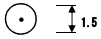
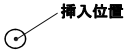
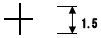
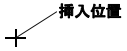
線形図

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード データ項目	名称	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	連続又は終点一致	備考
交通施設	線形図	25	05		属性	中心線の要素を取得（属性区分82、属性データの書式A84）		属性	E8		有		中心線の要素をいう。路線属性区分（必須）・路線番号（選択）・ＩＰ番号（選択）・開始測点名（選択）・緩和曲線開始距離（必須）・終了測点名（選択）・緩和曲線終了距離（必須）・半径又はパラメータ（必須）・左右区分（必須）で構成され、属性は省略可能である。 書式は、"A2,I5,I4,A24,I8,A24,I8,I8,I1"とする。 開始点測点名は、路線中心線の各スパンにおける始点側測点名を記述する。 緩和曲線開始距離は、中心線の形状がクロソイドの場合、クロソイドの基準になる位置（直線側端点）から路線の進行方向上の始点側測点位置までの距離をmm単位で記述する（直線部は0）。開始側クロソイドは開始距離よりも終了距離の方が大きくなり、終了側クロソイドはその逆となる。 終了点測点名は、路線中心線の各スパンにおける終点側測点名を記述する。 緩和曲線終了距離は、中心線の形状がクロソイドの場合、クロソイドの基準になる位置（直線側端点）から路線の進行方向上の終点側測点位置までの距離をmm単位で記述する（直線部は0）。 半径又はパラメータは、中心線の形状が円弧、又はクロソイドの場合、半径、又はパラメータAをmm単位で記述する。 左右区分は、線形の形状で、直線なら０、路線の進行方向に向かって右カーブなら1、左カーブなら2を記述する。		
			06	その他の路線結線		中心線以外の線を取得		線	E2			3	中心線以外の路線結線をいう。		
			07	役杭引出線		中心線の進行方向に対して役杭より直角に取得 		線	E2			3	役杭において中心線に直角に要素を表示するために引かれた線をいう。		
	杭打図		11	多角点（記号）		記号表示位置の点を取得 		点	E5			3			
			12	引照（線）		多角点と中心線杭間を取得		線	E2			3			

用地

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード データ項目	名称	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	連続又は終点一致	備考
土地利用等	用地	65	01	中心杭	3.0	記号表示位置の点を取得 挿入位置		点	E5			4	中心線の測点（役杭を含む）をいう。		
			02	用地杭	2.0	記号表示位置の点を取得 挿入位置		点	E5			4	用地杭(幅杭点を含む）をいう。		
			11	起業地の境界		用地境界線を取得		線	E2			3	用地取得境界線（幅杭線を含む）をいう。		
			12	用地取得予定線	6.2 0.4 0.4 1.0 1.0 1.0	用地境界線を取得		線	E2			3	用地取得境界線をいう。		公図等転写図に使用する。
			13	大字の境界	5.0 1.0 1.0	大字の境界線を取得		線	E2			7	大字の境界線をいう。		大字名の注記は、8114 を使用する。
			14	字の境界	3.0 2.0	字の境界線を取得		線	E2			7	字の境界線をいう。		字名の注記は、8115 を使用する。
			15	土地の境界		土地の境界線を取得		線	E2			3	土地の境界線を言う。		
			16	一筆地内の異なる地目の境界	0.5 0.5	地番内で地目が異なる境界を取得		線	E2			2	地番内で地目が異なる境界線をいう。		
			17	一筆地内の異なる権利の境界	0.8 0.2	地番内で権利の異なる境界を取得		線	E2			2	地番内で権利の異なる境界線をいう。		
			18	一筆地内の異なる占有者の境界	0.6 0.4	地番内で占有者の境界を取得		線	E2			3	地番内で占有者がある場合の境界線をいう。		

用地

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード データ項目	名称	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	連続又は終点一致	備考
土地利用等	用地	65	19	同一所有者記号		隣り合った土地の所有者が同じ場合に共有する線上に円弧を取得		円弧	E4			2	隣り合った土地の所有者が同じで片方の所有者名を省略する場合に記号を入れる。		
			21	境界標	石杭 	記号表示位置の点を取得 	71	点	E5			3	境界点に石杭が埋設してあるものをいう。		
					コンクリート杭 	記号表示位置の点を取得 	72	点	E5			3	境界点にコンクリート杭が埋設してあるものをいう。		
					合成樹脂杭 	記号表示位置の点を取得 	73	点	E5			3	境界点に合成樹脂杭が埋設してあるものをいう。		
					不銹鋼杭 	記号表示位置の点を取得 	74	点	E5			3	境界点に不銹鋼杭が埋設してあるものをいう。		
					その他 	記号表示位置の点を取得 	75	点	E5			3	境界点に鋲等が打設してあるものをいう。		
					境界計算点 	記号表示位置の点を取得 	76	点	E5			3	延長上の交点等で求めた点をいう。		
			22	公共施設の境界線（道路区域界）		道路の区域線を取得		線	E2			3	道路の区域界とは、道路法第2条第1項に規定された道路にあっては道路法施行規則第4条の2第4項第1号の道路の区域の境界線、道路法第2条第1項に規定する以外の道路にあってはこれに準ずる境界線をいう。		
			23	公共施設の境界線（河川区域界）		河川の区域線を取得		線	E2			3	河川の区域界とは、河川法第6条第1項の河川区域又は同法第100条第1項の規定により指定された河川について準用される同法第6条第1項の区域及びその他の公共の用に供する水路である河川の境界線をいう。		

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	連続又は終点一致	備考
土地利用等	用地	65	41	拡大参照枠		拡大して詳細を表示する外周を取得（始終点座標一致）		面 線 円	E1 E2 E3			3	部分的に拡大詳細図を作成する場合の範囲をいう。	○	
			42	引き出し線	1.0 0.8	引き出し線を取得		線	E2			3	寸法等で表示場所が制約される場合に別な場所に引き出す線をいう。		
			51	配電線路	E 1.5	電柱の中心位置と架線の方向を取得 挿入位置		方向	E6	有		3	電力柱をいう。		
			52	送電線路		外枠は支持物の敷地を取得し、内枠は支持物の基礎を取得（始終点座標一致）		面 線	E1 E2			3	送電線の鉄塔をいう。	○	
			53	通信線路	T 1.5	電柱の中心位置と架線の方向を取得 挿入位置		方向	E6	有		3	電話柱をいう。		
			54	鉄道・軌道	R 1.5	電柱の中心位置と架線の方向を取得 挿入位置		方向	E6	有		3	鉄道の電柱をいう。		
			55	その他の路線	A 1.5	電柱の中心位置と架線の方向を取得 挿入位置		方向	E6	有		3	その他の電柱をいう。		

整飾

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード データ項目	名称	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	連続又は終点一致	備考
地形等	整飾	79	01	図枠（外枠）		図枠外側の線を取得（始終点座標一致）		面線	E1 E2			3	図枠の外側に引かれた線をいう。	○	
			02	図枠（内枠）		図枠内側の線を取得（始終点座標一致）		面線	E1 E2			6	図枠の内側に引かれた線をいう。	○	
			03	タイトル（外枠）		タイトルの外枠線を取得（始終点座標一致）		面線	E1 E2			4	図面の右下に書かれたタイトルの外枠線をいう。	○	
			04	タイトル（罫線）		タイトル内の罫線を取得		線	E2			3	図面の右下に書かれたタイトル内の罫線をいう。		
			05	凡例（外枠）		凡例の外枠線を取得（始終点座標一致）		面線	E1 E2			4	図面内の要素を示す凡例の外枠線をいう。	○	
			06	凡例（罫線）		凡例内の罫線を取得		線	E2			3	図面内の要素を示す凡例内の罫線をいう。		
			07	作表（外枠）		作表の外枠線を取得（始終点座標一致）		面線	E1 E2			4	作表の外枠線をいう。	○	
			08	作表（罫線）		作表内の罫線を取得		線	E2			3	作表内の罫線をいう。		
			11	方眼線		座標の方眼線を取得		線	E2			3	図面内に表示された基準座標を示す方眼線をいう。		
			12	方眼点	3.0	記号表示位置の点と方向を取得 X Y		線	E2			3	図面内に表示された基準座標を示す方眼点をいう。		

整飾

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード データ項目	名称	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	連続又は終点一致	備考
地形等	整飾	79	13	方位		方位の図柄線を取得		線 円	E2 E3			3	平面図等の座標の北を示す方位をいい、図柄データで表示する。		
			14	方眼紙（5cm）	――――	方眼紙の５ｃｍ間隔の線を取得 ――――		線	E2			3	方眼紙をあらわす線をいう。		
			15	方眼紙（1cm）	――――	方眼紙の１ｃｍ間隔の線を取得 ――――		線	E2			2	方眼紙をあらわす線をいう。		
			16	方眼紙（1mm）	――――	方眼紙の１ｍｍ間隔の線を取得 ――――		線	E2			1	方眼紙をあらわす線をいう。		

注記

大分類	分類コード レイヤ	項目データ	分類	表示対象	字大 500	字大 1000	字隔	データタイプ データ	データタイプ レコード	注記法の区分 小対象物	注記法の区分 地域（Ⅰ）	注記法の区分 地域（Ⅱ）	注記法の区分 線状	全角・半角	備考（記載例）
注記	82	01	整飾	図面タイトル	7.0		1/4～3	注記	E7	○				全角・半角	
		02		図面縮尺	5.0		1/4～3	注記	E7	○				全角・半角	
		03		地区名	5.0		1/4～3	注記	E7	○				全角・半角	
		04		計画機関名	5.0		1/4～1	注記	E7	○				全角・半角	
		05		作業機関名	5.0		1/4～1	注記	E7	○				全角・半角	
		06		作成年月日	5.0		1/4～1	注記	E7	○				全角・半角	
		07		タイトル（文字）	4.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		08		凡例（文字）	4.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		09		作表（文字）	2.5		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		11		方眼座標値	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		12		方位	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
	25	01	線形図	ＩＰ（ＩＰ杭）	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		03		主要点（役杭）	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		04		中心点（中心杭）	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		07		役杭引出要素	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		11	杭打図	多角点名称	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		12		引照	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
	65	01	用地	中心杭番号	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		02		用地杭名称	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		21		境界点名称	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
	82	61		点間の距離	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		62		地番	2.5		1/4～1	注記	E7	○				全角・半角	
		63		地目	2.5		1/4～1	注記	E7	○				全角	
		64		所有者等の氏名	2.5		1/4～1	注記	E7	○				全角・半角	
		65		不動産番号	2.5		1/4～1	注記	E7	○				半角	
		66		座標系	2.5		1/4～1	注記	E7	○				全角・半角	

附属資料

公共測量標準図式　数値地形図データ取得分類基準表　測量記録

基準点網図

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	連続又は終点一致	備考
地形等	基準点網図	76	01	与点記号	5.0	記号表示位置の点を取得 挿入位置		点	E5			3	基準点測量を行う場合に使用する与点をいう。		
			02	新点記号	3.5	記号表示位置の点を取得 挿入位置		点	E5			3	新しく設置する新点（基準点）をいう。		
			03	節点記号	2.5	記号表示位置の点を取得 挿入位置		点	E5			3	点間に視通が無い場合に定められた範囲内で設ける点をいう。		
			04	偏心点・方位点	2.0	記号表示位置の点を取得 挿入位置		点	E5			3	与点等で点間の視通が無い場合に設ける偏心点をいう。		
			05	点間結線		点間の線を取得		線	E2			3	点間の視通を表す結線をいう。		
			06	与点後視方向線	基1 2.0 1.5	与点での方向線を与点から方向点方向に取得		線	E2	有		3	与点で後視方向のみ取り付ける場合の方向線をいう。		
			07	観測方向（矢印）	2.0 1.5	観測図で観測の方向を点間結線上に点の位置と方向を取得 X Y		方向	E6	有		3	点間結線上に観測方向を表現した記号をいう。		
			08	観測方向（線）	2.0 1.5	観測方向を始点から終点に向かって取得 内角の場合は時計周りに取得		線 円弧	E2 E4	有		3	観測路線方向を表現した方向線をいう。		
			09	セッション	3.0 1.0	セッションを取得（始終点座標一致）		面 線	E1 E2			3	ＧＰＳで観測する場合のセッションをいう。	○	
			11	与点記号（電子基準点）	3.0	記号表示位置の点を取得 挿入位置		点	E5			3	基準点測量を行う場合に使用する与点（電子基準点）をいう。		
			15	点間結線（偏心与点間）	0.5	点間の線を取得		線	E2			3	偏心与点間の視通を表す結線をいう。		

水準路線図

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	名称	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	連続又は終点一致	備考
地形等	水準路線図	77	01	与点記号	5.0	記号表示位置の点を取得 挿入位置		点	E5			3	水準測量を行う場合に使用する与点をいう。		
			02	新点記号	3.5	記号表示位置の点を取得 挿入位置		点	E5			3	新しく設置する新点（水準点・ＢＭ・交点）をいう。		
			03	固定点記号	2.5	記号表示位置の点を取得 挿入位置		点	E5			3	観測路線中にある固定点をいう。		
			04	水準路線		水準路線を取得		線	E2			3	水準路線をいい、路線単位で取得する。		
			05	観測路線方向線	2.0 1.5	観測路線の方向を始点から終点方向に取得		線	E2			3	水準路線の観測方向を表現した方向線をいう。		

数値写真資料

大分類	分類	分類コード レイヤ	分類コード データ項目	名称	図式	データタイプ 取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	線号	適用	連続又は終点一致	備考
地形等	数値写真資料	78	01	標定点	□ 3.0	記号表示位置の点を取得 挿入位置		点	E5			3			標定点配置図
			02	対空標識	△ 3.0	記号表示位置の点を取得 挿入位置		点	E5			3			対空標識一覧図
			04	主点	○ 2.0	記号表示位置の点を取得 挿入位置		点	E5			3			空中三角測量実施一覧図
			05	タイポイント	● 2.0	記号表示位置の点を取得 挿入位置		点	E5			3			空中三角測量実施一覧図
			06	連結	――	標定点から撮影コースへの連結を取得 ――		線	E2			3			空中三角測量実施一覧図
			11	撮影コース	――	撮影コースを取得 ――		線	E2			3			数値写真標定図
					属性	撮影コースの要素を取得（属性区分71、属性データの書式A52）		属性	E8				撮影コースの要素をいう。コース番号、使用カメラ名、カメラ番号（シリアル番号）、画面距離（mm）、撮影高度（m）、撮影縮尺（分母）、撮影年月（YYMM）、始点写真番号、終点写真番号を、"A4,2A10,I7,I4,I5,3A4"の書式で記述する。		数値写真標定図
			12	撮影主点	○ 2.0	記号表示位置の点を取得 挿入位置		点	E5			3			数値写真標定図
			13	写真枠	▭	写真の枠を取得（始終点座標一致） ▭		面	E1			3		○	数値写真標定図
	数値写真資料	78	14	撮影区域	――	撮影区域を取得 ――		線	E2			3			数値写真標定図
			21	作成範囲	――	作業範囲を取得 ――		面	E1			4			

注記

大分類	分類コード レイヤ	分類コード 項目データ	分類	表示対象	字大 500	字大 1000	字隔	データタイプ データ	データタイプ レコード	注記法の区分 小対象物	注記法の区分 地域（Ⅰ）	注記法の区分 地域（Ⅱ）	注記法の区分 線状	全角・半角	備考（記載例）
注記	82	21	基準点網図	測点名称	2.5		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		22		電算番号	2.5		1/4	注記	E7	○				半角	
		23		セッション名	2.5		1/4	注記	E7	○				半角	
	82	31	水準	測点名称	2.5		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		32		観測路線番号	2.5		1/4	注記	E7	○				半角	
	78	01	数値写真資料	標定点名称	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		02		対空標識名称	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		04		主点名称	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		05		タイポイント名称	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		11		コース番号	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
	82	41		写真番号	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		42		使用カメラ	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		43		画面距離	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		44		撮影高度	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	

附属資料

公共測量標準図式　数値地形図データ取得分類コード表

取得分類コード表

コード	項目
未分類	
00	未分類
行政界	
10	未分類
11	境界・所属界
交通施設	
20	未分類
21	道路
22	道路施設
23	鉄道
24	鉄道施設
25	線形図・杭打ち図
建物	
30	建物
34	建物の付属物
35	建物記号
小物体	
40	未分類
41	公共施設
42	その他の小物体
水部等	
50	未分類
51	水涯線
52	水部に関する構造物
土地利用等	
60	未分類
61	法面・構囲
62	諸地・場地
63	植生
65	用地
地形	
70	未分類
71	等高線
72	変形地
73	基準点
75	数値地形モデル
76	基準点網図
77	水準点網図
78	数値写真資料
79	応用測量整飾
注記	
80	未分類
81	注記
82	測量記録等

コード	項目
11 XX	境界・所属界
11 00	未分類
11 01	都府県界
11 02	北海道の支庁界
11 03	郡市・東京都の区界
11 04	町村・指定都市の区界
11 06	大字・町・丁目界
11 07	小字界
11 10	所属界
11 11	行政区の代表点
21 XX	道路
21 00	未分類
21 01	道路縁（街区線）
21 02	軽車道
21 03	徒歩道
21 06	庭園路等
21 07	トンネル内の道路
21 09	建設中の道路
22 XX	道路施設
22 00	未分類
22 03	道路橋（高架部）
22 04	木橋
22 05	徒橋
22 06	桟道橋
22 11	横断歩道橋
22 12	地下横断歩道
22 13	歩道
22 14	石段
22 15	地下街・地下鉄等出入口
22 19	道路のトンネル
22 21	バス停
22 22	安全地帯
22 26	分離帯
22 27	駒止
22 28	道路の雪覆い等
22 31	側溝　U字溝無蓋
22 32	側溝　U字溝有蓋
22 33	側溝　L字溝
22 34	側溝地下部
22 35	雨水桝
22 36	並木桝
22 37	側溝　管渠型
22 38	並木
22 39	植樹
22 41	道路情報板
22 42	道路標識　案内
22 43	道路標識　警戒
22 44	道路標識　規制
22 46	信号灯
22 47	信号灯　専用ポールのないもの
22 51	交通量観測所
22 52	スノーポール
22 53	カーブミラー
22 55	距離標（km）
22 56	距離標（m）
22 61	電話ボックス
22 62	郵便ポスト
22 63	火災報知器
23 XX	鉄道
23 00	未分類
23 01	普通鉄道
23 02	地下鉄地上部
23 03	路面電車
23 04	モノレール
23 05	特殊鉄道
23 06	索道
23 09	建設中の鉄道
23 11	トンネル内の鉄道・普通鉄道
23 12	地下鉄地下部
23 13	トンネル内の鉄道・路面電車
23 14	トンネル内の鉄道・モノレール
23 15	トンネル内の鉄道・特殊鉄道

コード	項目
24 XX	鉄道施設
24 00	未分類
24 01	鉄道橋（高架部）
24 11	跨線橋
24 12	地下通路
24 19	鉄道のトンネル
24 21	停留所
24 24	プラットホーム
24 25	プラットホーム上屋
24 26	モノレール橋脚
24 28	鉄道の雪覆い等
25 XX	線形図・杭打ち図
25 01	IP（IP杭）
25 02	IP方向線
25 03	主要点（役杭）
25 04	中心点（中心杭）
25 05	中心線
25 06	その他の路線結線
25 07	役杭引出線
25 11	多角点（記号）
25 12	引照（線）
30 XX	建物
30 00	分類しない建物
30 01	普通建物
30 02	堅ろう建物
30 03	普通無壁舎
30 04	堅ろう無壁舎
34 XX	建物の付属物
34 00	未分類
34 01	門
34 02	屋門
34 03	たたき
34 04	プール
35 XX	建物記号
35 00	未分類
35 03	官公署
35 04	裁判所
35 05	検察庁
35 07	税務署
35 08	税関
35 09	郵便局
35 10	森林管理署
35 11	測候所
35 12	工事事務所
35 13	出張所
35 14	警察署
35 15	交番
35 16	消防署
35 17	職業安定所（ハローワーク）
35 18	土木事務所
35 19	役場支所及び出張所
35 21	神社
35 22	寺院
35 23	キリスト教会
35 24	学校
35 25	幼稚園・保育園
35 26	公会堂・公民館
35 27	博物館
35 28	図書館
35 29	美術館
35 30	老人ホーム
35 31	保健所
35 32	病院
35 34	銀行
35 36	協同組合
35 39	デパート
35 45	倉庫
35 46	火薬庫
35 48	工場
35 49	発電所

コード	項目
35 50	変電所
35 52	浄水場
35 53	揚水機場
35 56	揚・排水機場
35 57	排水機場
35 59	公衆便所
35 60	ガソリンスタンド
41 XX	公共施設
41 00	未分類
41 01	マンホール（未分類）
41 11	マンホール（共同溝）
41 19	有線柱
41 21	マンホール（ガス）
41 31	マンホール（電話）
41 32	電話柱
41 41	マンホール（電気）
41 42	電力柱
41 51	マンホール（下水）
41 61	マンホール（水道）
42 XX	その他の小物体
42 00	未分類
42 01	墓碑
42 02	記念碑
42 03	立像
42 04	路傍祠
42 05	灯ろう
42 06	狛犬
42 07	鳥居
42 08	自然災害伝承碑
42 11	官民境界杭
42 15	消火栓
42 16	消火栓　立型
42 17	地下換気孔
42 19	坑口
42 21	独立樹（広葉樹）
42 22	独立樹（針葉樹）
42 23	噴水
42 24	井戸
42 25	油井・ガス井
42 26	貯水槽
42 27	肥料槽
42 28	起重機
42 31	タンク
42 32	給水塔
42 33	火の見
42 34	煙突
42 35	高塔
42 36	電波塔
42 37	照明灯
42 38	防犯灯
42 39	風車
42 41	灯台
42 42	航空灯台
42 43	灯標
42 45	ヘリポート
42 51	水位観測所
42 52	流量観測所
42 53	雨量観測所
42 54	水質観測所
42 55	波浪観測所
42 56	風向・風速観測所
42 61	輸送管（地上）
42 62	輸送管（空間）
42 65	送電線

取得分類コード表

コード	項目	コード	項目	コード	項目	コード	項目
51 XX	水部	62 21	噴火口・噴気口	71 08	凹地（特殊補助曲線）	79 05	凡例（外枠）
51 00	未分類	62 22	温泉・鉱泉			79 06	凡例（罫線）
51 01	河川・水がい線	62 23	陵墓	71 99	凹地（矢印）	79 07	作表（外枠）
51 02	細流・一条河川	62 24	古墳			79 08	作表（罫線）
51 03	かれ川	62 25	城・城跡	72 XX	変形地		
51 04	用水路	62 26	史跡・名勝・天然記念物	72 00	未分類	79 11	方眼線
51 05	湖池			72 01	土がけ（崩土）	79 12	方眼点
51 06	海岸線	62 31	採石場	72 02	雨裂	79 13	方位
51 07	水路　地下部	62 32	土取場	72 03	急斜面	79 14	方眼紙（5cm）
		62 33	採鉱地	72 06	洞口	79 15	方眼紙（1cm）
51 11	低位水がい線（干潟線）					79 16	方眼紙（1mm）
		63 XX	植生	72 10	未分類　岩		
52 XX	水部に関する構造物等	63 00	未分類	72 11	岩がけ		
52 00	未分類	63 01	植生界	72 12	露岩		
52 02	桟橋（鉄、コンクリート）	63 02	耕地界	72 13	散岩		
52 03	桟橋（木製・浮桟橋）	63 03	仮耕地界	72 14	さんご礁		
52 04	桟橋（浮き）						
		63 11	田	73 XX	基準点		
52 11	防波堤	63 12	はす田	73 00	未分類		
52 12	護岸　被覆	63 13	畑	73 01	三角点		
52 13	護岸　杭（消波ブロック）	63 14	さとうきび畑	73 02	水準点		
52 14	護岸　捨石	63 15	パイナップル畑	73 03	多角点等		
52 19	坑口　トンネル	63 16	わさび畑	73 04	公共基準点（三角点）		
		63 17	桑畑	73 05	公共基準点（水準点）		
52 21	渡船発着所	63 18	茶畑	73 06	公共基準点（多角点等）		
52 22	船揚場	63 19	果樹園	73 07	その他の基準点		
52 26	滝			73 08	電子基準点		
52 27	せき	63 21	その他の樹木畑	73 09	公共電子基準点		
52 28	水門	63 22	牧草地				
		63 23	芝地	73 11	標石を有しない標高点		
52 31	不透過水制			73 12	図化機測定による標高点		
52 32	透過水制	63 31	広葉樹林				
52 33	水制水面下	63 32	針葉樹林	75 XX	数値地形モデル		
52 35	根固	63 33	竹林	75 00	未分類		
52 36	床固　陸部	63 34	荒地	75 01	グリッドデータ		
52 37	床固　水面下	63 35	はい松地	75 11	ランダムポイント		
52 38	蛇籠	63 36	しの地（笹地）	75 21	ブレークライン		
52 39	敷石斜坂	63 37	やし科樹林	75 31	不整三角網（TIN）		
		63 38	湿地				
52 41	流水方向			76 XX	基準点網図		
		63 40	砂れき地（未分類）	76 01	与点記号		
52 55	距離標	63 41	砂地	76 02	新点記号		
52 56	量水標	63 42	れき地	76 03	節点記号		
		63 45	干潟	76 04	偏心点・方位点		
61 XX	法面・構囲			76 05	点間結線		
61 00	未分類	65 XX	用地	76 06	与点後視方向線		
61 01	人工斜面	65 01	中心杭	76 07	観測方向（矢印）		
61 02	土堤	65 02	用地杭	76 08	観測方向（線）		
61 03	河川堤防の表法肩の法線	65 11	起業地の境界	76 09	セッション		
		65 12	用地取得予定線				
61 10	被覆	65 13	大字の境界	76 11	与点記号（電子基準点）		
61 11	コンクリート被覆	65 14	字の境界				
61 12	ブロック被覆	65 15	土地の境界	76 15	点間結線（偏心与点間）		
61 13	石積被覆	65 16	一筆地内の異なる地目の境界				
		65 17	一筆地内の異なる権利の境界	77 XX	水準路線図		
61 20	未分類　法面保護	65 18	一筆地内の異なる占有者の境界	77 01	与点記号		
61 21	法面保護（網）	65 19	同一所有者記号	77 02	新点記号		
61 22	法面保護（モルタル）			77 03	固定点記号		
61 23	法面保護（コンクリート桝）	65 21	境界標	77 04	水準路線		
		65 22	公共施設の境界線（道路区域界）	77 05	観測路線方向線		
61 30	柵（未分類）・垣	65 23	公共施設の境界線（河川区域界）				
61 31	落下防止柵						
61 32	防護柵						
61 33	遮光柵			78 XX	数値写真資料		
61 34	鉄柵			78 01	標定点		
61 36	生垣	65 41	拡大参照枠	78 02	対空標識		
61 37	土囲	65 42	引き出し線				
				78 04	主点		
61 40	塀（未分類）	65 51	配電線路	78 05	タイポイント		
61 41	堅ろう塀	65 52	送電線路	78 06	連結		
61 42	簡易塀	65 53	通信線路				
		65 54	鉄道・軌道	78 11	撮影コース		
62 XX	諸地・場地			78 12	撮影主点		
62 00	未分類			78 13	写真枠		
62 01	区域界	65 55	その他の路線	78 14	撮影区域		
62 11	空地	71 XX	等高線	78 21	作成範囲		
62 12	駐車場	71 00	未分類				
62 13	花壇	71 01	等高線（計曲線）	79 XX	応用測量整飾		
62 14	園庭	71 02	等高線（主曲線）	79 01	図枠（外枠）		
62 15	墓地	71 03	等高線（補助曲線）	79 02	図枠（内枠）		
62 16	材料置場	71 04	等高線（特殊補助曲線）	79 03	タイトル（外枠）		
62 17	太陽光発電設備	71 05	凹地（計曲線）	79 04	タイトル（罫線）		
		71 06	凹地（主曲線）				
		71 07	凹地（補助曲線）				

取得分類コード表

コード	項目	コード	項目
81 XX	注記	25 11	多角点名称
81 00	未分類	25 12	引照
81 10	市･東京都の区	34 XX	建物の付属物
81 11	町･村･指定都市の区	34 04	プール
81 12	市町村の飛地		
81 13	大区域	52 XX	水部に関する構造物等
81 14	大字･町･丁目	52 13	護岸杭（消波ブロック）
81 15	小字･丁目	52 14	護岸 捨石
81 16	通り		
81 17	その他の地名（大）	52 22	船揚場
81 18	その他の地名（中）		
81 19	その他の地名（小）	52 35	根固
81 21	道路の路線名	52 36	床固　陸部
81 22	道路施設、坂、峠、インターチェンジ	52 37	床固　水面下
81 23	鉄道の路線名	52 38	ジャカゴ
81 24	鉄道施設、駅、操車場、信号所		
81 25	橋	65 XX	用地測量
81 26	トンネル	65 01	中心杭番号
81 31	建物の名称	65 02	用地杭名称
81 34	建物の付属物	65 21	境界点名称
81 40	マンホール		
81 41	電柱	71 XX	等高線
81 42	その他の小物体	71 01	等高線（計曲線）
81 51	水部	71 02	等高線（主曲線）
81 52	水部施設	71 03	等高線（補助曲線）
81 53	地下水部	71 04	等高線（特殊補助曲線）
81 61	法面、構囲	71 05	凹地（計曲線）
81 62	諸地、場地	71 06	凹地（主曲線）
81 63	植生	71 07	凹地（補助曲線）
81 71	山地	71 08	凹地（特殊補助曲線）
81 73	標高注記		
81 81	説明注記	73 XX	基準点
81 99	指　示　点	73 01	三角点
		73 02	水準点
82 XX	測量記録等	73 03	多角点
82 0X	応用測量整飾	73 04	公共基準点（三角点）
82 01	図面タイトル	73 05	公共基準点（水準点）
82 02	図面縮尺	73 06	公共基準点（多角点）
82 03	地区名	73 07	その他基準点
82 04	計画機関名	73 08	電子基準点
82 05	作業機関名	73 09	公共電子基準点
82 06	作成年月日		
82 07	タイトル（文字）	73 11	標石を有しない標高点
82 08	凡例（文字）	73 12	図化標高点
82 09	作表（文字）		
82 11	方眼座標値		
82 12	方位		
82 2X	基準点網図		
82 21	測点名称		
82 22	電算番号		
82 23	セッション名		
82 3X	簡易水準測量		助字
82 31	測点名称		ふり仮名
82 32	観測路線番号		
82 4X	数値写真資料		
82 41	写真番号		
82 42	使用カメラ		
82 43	画面距離		
82 44	撮影高度		
82 6X	用地測量		
82 61	点間の距離		
82 62	地番		
82 63	地目		
82 64	所有者等の氏名		
82 65	不動産番号		
82 66	座標系		
22 XX	道路施設		
22 55	距離標(Km)		
22 56	距離標(m)		
25 XX	線形		
25 01	IP（IP杭）		
25 03	主要点（役杭）		
25 04	中心点（中心杭）		
25 07	役杭引出要素		

附属資料

公共測量標準図式　数値地形図データファイル仕様

数値地形図データファイル仕様

レコードの構成

レコード名	ファイル仕様	摘　　要
(1) インデックスレコード	(1),(a)～(c)	数値地図情報の内容を総括的に把握するするための情報を記録するレコード。計画機関名・座標系・図郭識別番号・取得分類からなる。当該作業（例：〇〇年度　〇〇市都市計画図作成作業）で作成された数値地形図データファイルの管理に用いる。
(2) 図郭レコード	(2),(a)～(f)	図郭内に含まれる数値地図情報について、その概要を記録するためのレコード。図郭名称、地図情報レベル・データ量・図郭座標・データ作成に伴う情報からなる。端数の記録は図郭座標端数と図郭座標の符号とを同一とする。（例：座標値が−1234.56の場合、図郭座標列には−1234、図郭座標の端数列には−56を記録する）
(3) レイヤヘッダレコード	(3)	グループヘッダレコードの一種で、レイヤごとのグループ化のためのレコード。レイヤコード・レイヤ内の要素数・レイヤ内のデータ取得年月・データ作成手法からなる。またレイヤが変わるごとに作成する。
(3) グループヘッダレコード	(3)	グループヘッダレコードの一種で、要素についてグループ化する場合に使用するヘッダレコード。レイヤヘッダレコードと同じ項目からなる。
(4)　要素レコード	(4)	要素についてグループ化のためのレコード。原則として、実データのうち座標レコード・注記レコード・属性レコードのいずれかと対（セット）となり、実データの直前に位置する。
(5) グリッドヘッダレコード	(5)	実データであるグリットレコードに関するヘッダ情報を記録するためのレコード。グリッドレコードの直前に位置する。
(6) 不整三角網ヘッダレコード	(6)	実データである不整三角網（TIN）レコードに関するヘッダ情報を記録するためのレコード。不整三角網レコードの直前に位置する。
(7) 三次元座標レコード	(7)	地形・地物の位置及び形状を表すための実レコード。X,Y,Zの三次元座標を記録するためのレコード。
(8) 二次元座標レコード	(8)	地形・地物の位置及び形状を表すための実レコード。X,Yの二次元座標を記録するためのレコード。
(9) 注記レコード	(9)	地形図上の注記を表現するための実レコード
(10) 属性レコード	(10)	ユーザがデータ利用を目的として記録するための実レコード。
(11) グリッドレコード	(11)	グリッドデータを記録するための実レコード。レコードは高さのデータのみからなり、高さデータは行順。同行内では列順に並べて記録する。
(12) 不整三角網レコード	(12)	地形等を三角面データで記録するための実レコード。レコードはX,Y,Zの座標値の組からなる。

ファイル仕様の記述

本準則における「数値地形図データファイル仕様」の記述は、FORTRAN言語の書式に従って記述されている。そのため［繰り返し数］+［型］+［桁数］で記述される。本準則に使用されている書式は下表のとおりである。

型	意味	例	データ型と数字の補足説明
A	文字型	A30	文字型(A)で半角文字なら30字、全角文字なら15字まで入力可（入力値が無い場合は半角スペース。）
I	整数型	I3	整数型(I)で3桁、右詰で記述（入力値が無い場合″0″）
X	空白	3X	空白を3個（半角スペース）

(1) インデックスレコード (a)

レコードタイプ	座標系	計画機関名	図郭数	図郭識別番号レコード数	使用分類コード数	転位処理フラグ	間断処理フラグ	使用した作業規程		バージョン	空き領域区分	空き領域
								西暦年号	作業規程名			
A2	I2	A30	I3	I2	I4	I1	I1	I4	A30	I1	I1	3X

10　20　30　40　50　60　70　80

レコードタイプ・・・・・・・・・・・・「I△」に固定（△はスペースを示す。以下同じ。）
座標系　　・・・・・・・・・・・・ 平面直角座標系の系番号
計画機関名・・・・・・・・・・・・・ 数値地形図データの作成・更新を計画した機関名
図郭数　　・・・・・・・・・・・・ 地域内に含まれる情報区画（図郭）数
図郭識別番号レコード数・・・ 図郭識別番号レコード（インデックスレコード(b)）の数
使用分類コード数・・・・・・・・・当該データで使用している分類コード数（対応テーブルのレコード数）
転位処理フラグ・・・・・・・・・・・当該データファイルで、転位区分を設定しているか否かを示すフラグ
　　0　:転位処理を設定していない
　　1　:転位処理を設定している
間断処理フラグ・・・・・・・・・・・当該データファイルで、間断区分を設定しているか否かを示すフラグ
　　0　:間断処理を設定していない
　　1　:間断処理を設定している
使用した作業規程・・・・・・・・ 当該データファイルのフォーマットが定められた作業規程の名称
　　西暦年号・・・・・・・・・・・・・・作業規程が施行された西暦年　　例. 2008
　　作業規程名・・・・・・・・・・・使用した作業規程名　　例. 国土交通省公共測量作業規程
バージョン・・・・・・・・・・・・・・・データファイル仕様のバージョンで、本仕様では２
　　（旧DMは、0）
空き領域区分・・・・・・・・・・・・空き領域をユーザーが利用した場合の区分
　　0:利用していない。
　　n:利用している（1≦n≦9）。nの値はユーザーで管理する番号
空き領域・・・・・・・・・・・・・・・・各レコードは84バイトの固定長に設定されており、レコード内全てが記録領域としていない。その為の空白域（以降説明省略）

数値地形図データファイル仕様

(1) インデックスレコード (b)

図郭識別番号 (1)	図郭識別番号 (2)	図郭識別番号 (3)	図郭識別番号 (4)	図郭識別番号 (5)	図郭識別番号 (6)	図郭識別番号 (7)	図郭識別番号 (8)	図郭識別番号 (9)	図郭識別番号 (10)	空き領域
A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	4X

10　20　30　40　50　60　70　80

図郭識別番号・・・・・・・・・・・・地域内に含まれる全図郭番号（英数字、図郭識別番号レコード数分繰り返し）

(1) インデックスレコード (c)

使用分類コード		標準の分類コード		使用データタイプフラグ								方向規定区分	座標次元区分	内容記述
レイヤ	項目	レイヤ	項目	面	線	円	円弧	点	方向	注記	属性	グリッド・TIN				
I4		I4		9I1								I1	I1	A65

10　20　30　40　50　60　70　80

使用分類コード・・・・・・・・・・・当該データファイルで使用している分類コード
標準の分類コード・・・・・・・・・使用している取得分類コードに対応する標準の取得分類コード（数値地形図データ取得分類基準表）
　　レイヤ・・・・・・・・・・・・・・・ 取得分類基準の分類コード上位2桁
　　項目・・・・・・・・・・・・・・・ 取得分類基準の分類コード下位2桁
使用データタイプフラグ・・・・・当該取得分類で各データタイプを使用しているか否かを示すフラグ
　　0 :使用していない
　　1 :使用している

方向規定区分・・・・・・・・・・・当該取得区分の座標列の方向性をどのように規定しているかを示す区分
　　0 :方向性は本規定に準拠
　　1 :別途定めて使用している
座標次元区分・・・・・・・・・・・当該座標取得分類の座標値の次元を示す区分
　　0 :特に定めない（二次元と三次元が混在）
　　2 :二次元（X, Y）
　　3 :三次元（X, Y, Z）
内容記述・・・・・・・・・・・・・・・標準の分類コードと異なる分類コードを使用した場合は、その仕様等の概要を記述

※(b)(c)は各々、(a)の図郭識別番号レコード数及び取得分類数だけ繰り返される。

数値地形図データファイル仕様

(2)図郭レコード(a)

レコードタイプ	図郭識別番号	図郭名称	地図情報レベル	タイトル名	修正回数	バージョン	空き領域区分	空き領域
A2	A8	A20	I5	A30	I2	I1	I1	15X

10　20　30　40　50　60　70　80

レコードタイプ・・・・・・・・・・・・「M△」に固定
図郭識別番号・・・・・・・・・・・・当該図郭の番号(英数字)
図郭名称・・・・・・・・・・・・・・・当該図郭の図郭名称
地図情報レベル・・・・・・・・・・測量作業規程の第3編第1章第105条に従う。
タイトル名・・・・・・・・・・・・・・当該図郭のタイトル名(例:"〇〇市都市計画基本図")
修正回数・・・・・・・・・・・・・・・図郭の修正作業を行った回数、新規作成時は修正回数0(ゼロ)
バージョン・・・・・・・・・・・・・・データファイル仕様のバージョンで、本仕様では2
空き領域区分・・・・・・・・・・・・空き領域をユーザーが利用した場合の区分
　　0 :利用していない。
　　n :利用している(1≦n≦9)。nの値はユーザーで管理する番号

(2)図郭レコード(b)

図郭座標(1)				空き領域	要素数	レコード数	座標値の単位	図郭座標(2)				空き領域	レコード数反復回数
左下図郭座標		右上図郭座標						左上図郭座標		右下図郭座標			
X (m)	Y (m)	X (m)	Y (m)					X (m)	Y (m)	X (m)	Y (m)		
I7	I7	I7	I7	I3	I6	I7	I3	I7	I7	I7	I7	6X	I3

10　20　30　40　50　60　70　80

図郭座標(1)・・・・・・・・・・・・当該図郭の左下隅及び右上隅の、X, Y座標で、単位はm(メートル)
要素数・・・・・・・・・・・・・・・・当該図郭に含まれる全要素数
レコード数・・・・・・・・・・・・・・当該図郭ファイルの図郭レコードを除く全レコード数
座標値の単位・・・・・・・・・・・・座標データの単位を記述する。
　　地図情報レベル500及び1000では「　1」・・・・・・使用している座標値が「mm」単位であることを示す
　　地図情報レベル2500及び5000では「　10」・・・・・・使用している座標値が「cm」単位であることを示す
　　地図情報レベル　　10000では「999」・・・・・・使用している座標値が「m」単位であることを示す
図郭座標(2)・・・・・・・・・・・・当該図郭の左上隅及び右下隅の、X, Y座標で、単位はm(メートル)
レコード数反復回数・・・・・・・レコード数が7桁を超える場合に用いる。(1～9,999,999が1、10,000,000～19,999,999が2、20,000,000～29,999,999が3、・・・・。)

数値地形図データファイル仕様

(2)図郭レコード(c)

隣接図郭識別番号								空き領域
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	
A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	20X

10 20 30 40 50 60 70 80

隣接図郭識別番号・・当該図郭の周りの図郭番号(英数字)で、左上から右回り(全部で8枚)、存在しない図郭はスペース
※右図参照

隣接図郭識別番号順

1	2	3
8	当該図郭	4
7	6	5

(2) 図郭レコード(d)

作成年月	現地調査年月	撮影コース数	レコード数	入力機器名	公共測量承認届番号	測地成果識別コード	図郭識別コード	変換手法識別コード	空き領域
A4	A4	I1	I1	A30	A30	I1	I1	I1	11X

10 20 30 40 50 60 70 80

作成年月・・・・・・・・・・・・・・ 位置データを作成した年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000")
現地調査年月・・・・・・・・・・・ 現地調査を行った年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000")
撮影コース数・・・・・・・・・・・・ 当該図郭に関係する写真のコース数。航空レーザ測量の場合は、計測地区数と読み替える。
レコード数・・・・・・・・・・・・・ 撮影コースレコード(f)の数。レコード数(f)に記載項目がない場合は0(ゼロ)。
入力機器名・・・・・・・・・・・・・ 位置データを入力した機器名(例:デジタルステレオ図化機　〇〇〇〇〇)
公共測量承認番号・・・・・・・ 承認番号(国土地理院からの承認番号)
測地成果識別コード・・・・・・ 作成した成果の測地系コードを入力
0 :日本測地系で作成
1 :世界測地系で作成
2 :日本測地系から世界測地系へ変換
図郭識別コード・・・・・・・ 日本測地系から世界測地系へ変換された図郭の状態を示すコード
1 :図郭が切り直された場合
0 :それ以外
変換手法識別コード・・・ 座標変換の方法を示すコード
1 :図郭代表点を座標変換
2 :図郭四隅を座標変換
3 :全座標データを座標変換
9 :上記以外の座標変換
0 :それ以外
※日本測地系とは、測量法(昭和24年)に定められた測量の基準、世界測地系とは、測量法(平成14年4月1日施行)に定められた測量の基準

数値地形図データファイル仕様

(2)図郭レコード(e)

作業機関名	図郭座標の端数								空き領域
	左下図郭座標		右上図郭座標		左上図郭座標		右下図郭座標		
	X(cm,mm)	Y(cm,mm)	X(cm,mm)	Y(cm,mm)	X(cm,mm)	Y(cm,mm)	X(cm,mm)	Y(cm,mm)	
A40	I4	I4	I4	I4	I4	I4	I4	I4	12X

10 20 30 40 50 60 70 80

作業機関名・・・・・・・・・・・・数値地図作成作業を実施した機関名
図郭座標の端数で、メートル未満の端数数値を記述する。
左下図郭座標・・・・・・・・・・左下図郭座標のメートル未満の端数数値を記述する。
右上図郭座標・・・・・・・・・・右上図郭座標のメートル未満の端数数値を記述する。
左上図郭座標・・・・・・・・・・左上図郭座標のメートル未満の端数数値を記述する。
右下図郭座標・・・・・・・・・・右下図郭座標のメートル未満の端数数値を記述する。
※地図情報レベル500及び1000では「mm」単位、地図情報レベル2500以上では「cm」単位

(2) 図郭レコード(f)

撮影		写真		写真番号		撮影		写真		写真番号		撮影		写真		写真番号		空き領域
コース番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点	コース番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点	コース番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点	
A4	A4	I5	I1	I4	I4	A4	A4	I5	I1	I4	I4	A4	A4	I5	I1	I4	I4	18X

10 20 30 40 50 60 70 80

撮影コース番号・・・・・・・・・・・・・当該図郭に関する数値写真の撮影コース番号(英数字)。航空レーザ測量の場合は、計測地区番号と読み替える。
撮影年月・・・・・・・・・・・・・・・・・当該図郭に関する数値写真の撮影年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000")。航空レーザ測量の場合は、計測年月日と読み替える。
写真縮尺・・・・・・・・・・・・・・・・・当該図郭に関する数値写真の地上画素寸法をcm単位で入力する。また、航空レーザ測量の場合は、三次元計測データの平均間隔と読み替えcm単位で入力する。
写真枚数・・・・・・・・・・・・・・・・・当該図郭に関する数値写真の当該コース番号についての枚数
写真番号・・・・・・・・・・・・・・・・・当該図郭に関する数値写真の始点及び終点番号

※(d) (e) (f) は新規作成時に1回、その後は

(d) (e) (f)	(d) (e) (f)	(d) (e) (f)	・・・・・・・・・
新規	修正1回目	修正2回目	

のように、修正が行われる度に追加される。
※図郭レコード(f)のデータ数が4以上の場合は複数レコードを連続する。

数値地形図データファイル仕様

(3) グループヘッダレコード(レイヤヘッダレコード及び要素グループヘッダレコード)

レコードタイプ	地図分類コード				要素識別番号	階層レベル	要素数											取得年月	更新の取得年月	消去年月	数値化区分	空き領域
	分類コード		地域分類	情報分類			総数	グループ	面	線	円	円弧	点	方向	注記	属性	グリット・TIN					
	レイヤ	項目																				
A2	I4		I2	I4	I4	I2	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I1	A4	A4	A4	I2	X

10 20 30 40 50 60 70 80

レコードタイプ・・・・・・・・・・・・「H△」に固定
地図分類コード・・・・・・・・・・ 数値地形図の情報体系コード
　分類コード・・・・・・・・・・・・取得分類基準表に基づく分類コード
　地域分類コード・・・・・・・・地図情報の属する位置的特性による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
　情報分類コード・・・・・・・・地図情報の利用目的による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
要素識別番号・・・・・・・・・・・・個々の要素を識別するためのもので、一図郭内の分類コード別に、1から4桁の一連番号、10,000を超える場合は0から開始する4桁の一連番号(通常レイヤヘッダレコードでは0)
階層レベル・・・・・・・・・・・・・・当該レコードの階層上の位置(通常レイヤヘッダレコードでは1、要素グループヘッダレコードでは2)
要素数・・・・・・・・・・・・・・・・ 1レベル下に存在するデータタイプ別の要素数及びグループ数、総数
　総数・・・・・・・・・・・・・・・・ 全要素数
　グループ・・・・・・・・・・・・・ グループ化した要素の数
　面・・・・・・・・・・・・・・・・・ 面データタイプの数
　線・・・・・・・・・・・・・・・・・ 線データタイプの数
　円・・・・・・・・・・・・・・・・・ 円データタイプの数
　円弧・・・・・・・・・・・・・・・・ 円弧データタイプの数
　点・・・・・・・・・・・・・・・・・ 点データタイプの数
　方向・・・・・・・・・・・・・・・・ 方向データタイプの数
　注記・・・・・・・・・・・・・・・・ 注記データタイプの数
　属性・・・・・・・・・・・・・・・・ 属性データタイプの数
　グリッド・TIN・・・・・・・・・・ グリッド要素の数とTIN(不整三角網)の数の合計。通常は1。(例:DTMとDSMがある場合は2)
取得年月・・・・・・・・・・・・・・・当該グループに属する取得要素の最新年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000")
更新の取得年月・・・・・・・・・・追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グループに属する取得要素の最新年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000")
消去年月・・・・・・・・・・・・・・・追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グループに属する消去要素の最新年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000")
数値化区分・・・・・・・・・・・・・・当該グループが主にどのような手法によって数値化されたかを示す区分(精度区分の上位桁)

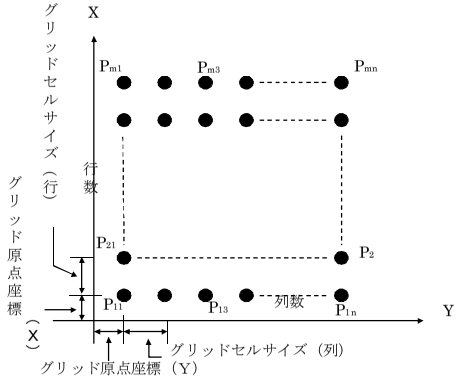
数値地形図データファイル仕様

(4) 要素レコード

レコードタイプ	地図分類コード				要素識別番号	階層レベル	図形区分	実データ区分	精度区分	注記区分	転位区分	間断区分	データ数	レコード数	代表点の座標値		属性数値	属性区分	属性データの書式	取得年月	更新の取得年月	消去年月	空き領域	要素識別番号反復回数
	分類コード		地域分類	情報分類											X	Y								
	レイヤ	項目																						
A2	I4		I2	I4	I4	I2	I2	I1	I2	I1	I2	I1	I4	I4	I7	I7	I7 or 7X	I2	A7	A4	A4	A4	6X	I1

10　20　30　40　50　60　70　80

レコードタイプ・・・・・・・・・・・・ データタイプによって区分される
地図分類コード・・・・・・・・・・・・数値地形図の情報体系コード
　分類コード・・・・・・・・・・・・ 取得分類基準表に基づく分類コード
　地域分類コード・・・・・・・・ 地図情報の属する位置的特性による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
　情報分類コード・・・・・・・・ 地図情報の利用目的による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
要素識別番号・・・・・・・・・・・ (3)要素グループヘッダレコードを参照
階層レベル・・・・・・・・・・・・・ 当該レコードの階層上の位置
図形区分・・・・・・・・・・・・・・・ 図面出力上必要な区分
実データ区分・・・・・・・・・・・・ 直後に来る実データレコードの区分コード
精度区分・・・・・・・・・・・・・・・ 要素ごとのデータの精度
注記区分・・・・・・・・・・・・・・・ 漢字か英数字かの区分
転位区分・・・・・・・・・・・・・・・ 転位処理フラグが1のとき、図面出力において適用される区分
　　0 :転位されない。
　　n :データの方向に対して右側に転位する。(1≦n≦9)
　　-n :データの方向に対して左側に転位する。(1≦n≦9)
　取得分類コードに応じて優先順位の高い方ものから1, 2, ・・, nと記述
間断区分・・・・・・・・・・・・・・・・間断処理フラグが1のとき、図面出力において適用される区分
　取得分類コードに応じて優先順位の高いものから1, 2, ・・, nと記述
データ数・・・・・・・・・・・・・・・・・データタイプによって記述が異なる。
　　E1～E6 :座標数　　E7 :文字数　　E8 :属性数
　　E5は、記号の場合は0, 標高点群の場合は点数が入る。
レコード数・・・・・・・・・・・・・・ 当該要素が持つ実データレコード数
代表点の座標値・・・・・・・・・・図形の代表となる点、記号や注記の指示座標
　　E5 :データ数が0のとき、その点の座標値
　　E7 :始点座標(横書きでは最初の文字の左下座標、縦書きでは最初の文字の左上座標)
属性数値・・・・・・・・・・・・・・ 図形の代表となる数値、等高線や基準点の標高で、mm単位で記述
属性区分・・・・・・・・・・・・・・ 利用者が独自に設ける区分で、別途属性区分表にて解説
属性データの書式・・・・・・・・ 属性レコードを持つ場合の、そのレコードに記述されている内容の書式、Fortran形式で記述
取得年月・・・・・・・・・・・・・・ 当該要素が最初に取得された年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000")
更新の取得年月・・・・・・・・・ 追加形式でファイルを更新する際に用い、当該要素が修正された年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000")
消去年月・・・・・・・・・・・・・・ 追加形式でファイルを更新する際に用い、当該要素が存在しなくなったことが確認された年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000")
要素識別番号反復回数・・・・ 要素識別番号が4桁を超える場合に用いる。(1～9,999が1、10,000～19,999が2、20,000～29,999が3、・・・・。通常は10,000未満のために1となる。)



数値地形図データファイル仕様

(5) グリッドヘッダレコード

レコードタイプ	地図分類コード				要素識別番号	階層レベル	行数	列数	レコード数	グリッドセルサイズ		グリッド原点座標値		取得年月	更新の取得年月	消去年月	図形区分	精度区分	空き領域	レコード数反復回数
	分類コード		地域分類	情報分類																
	レイヤ	項目								行	列	X	Y							
A2	I4		I2	I4	I4	I2	I4	I4	I4	I7	I7	I7	I7	A4	A4	A4	I2	I2	7X	I3

10 20 30 40 50 60 70 80

レコードタイプ・・・・・・・・・・・ 「G△」に固定
地図分類コード・・・・・・・・・・・要素グループヘッダレコードを参照
　　分類コード、地域分類、情報分類 ・・・・・・・・・要素グループヘッダレコードを参照
要素識別番号・・・・・・・・・・・・要素グループヘッダレコードを参照
階層レベル・・・・・・・・・・・・・ 当該レコードの階層上の位置（通常2又は3）
行数・・・・・・・・・・・・・・・・・・ グリッドデータの縦（X）方向の並びの数
列数・・・・・・・・・・・・・・・・・・ グリッドデータの横（Y）方向の並びの数
レコード数・・・・・・・・・・・・・・ 当該グリッドデータの実データレコード数
グリッドセルサイズ・・・・・・・・ グリッドデータの格子点間距離
グリッド原点座標値・・・・・・・ グリッドデータの原点
取得年月・・・・・・・・・・・・・・ 当該グリッドデータを取得した年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は″0000″)
更新の取得年月・・・・・・・・・ 追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グリッドデータが修正された年月、西暦の下2桁及び月で表現（選択項目）(未入力は″0000″)
消去年月・・・・・・・・・・・・・・ 追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グリッドデータが存在しなくなったことが確認された年月、西暦の下2桁及び月で表現（選択項目）(未入力は″0000″)
図形区分・・・・・・・・・・・・・・ 図面出力上必要な区分コード
精度区分・・・・・・・・・・・・・・ グリッドごとのデータの精度
レコード数反復回数・・・・・・・ レコード数が4桁を超える場合に用いる。（1～9,999が1、10,000～19,999が2、20,000～29,999が3、・・・・。通常は10,000未満のために1となる。）

(6) 不整三角網ヘッダレコード

レコードタイプ	地図分類コード				要素識別番号	階層レベル	図形区分	三角形数	レコード数	取得年月	更新の取得年月	消去年月	精度区分	空き領域
	分類コード		地域分類	情報分類										
	レイヤ	項目												
A2	I4		I2	I4	I4	I2	I2	I6	I6	A4	A4	A4	I2	38X

10 20 30 40 50 60 70 80

レコードタイプ・・・・・・・・　「T△」に固定
地図分類コード・・・・・・・　要素グループヘッダレコードを参照
　　分類コード、地域分類、情報分類 ・・・・・・・要素グループヘッダレコードを参照
要素識別番号・・・・・・・・・　要素グループヘッダレコードを参照
階層レベル・・・・・・・・・・・　当該レコードの階層上の位置（通常は2又は3）
図形区分・・・・・・・・・・・・　図面出力上必要な区分コード
三角形数・・・・・・・・・・・・　三角形の数
レコード数・・・・・・・・・・・・　当該三角形の実データレコード数
取得年月・・・・・・・・・・・・・　当該不整三角網データを取得した年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は″0000″)
更新の取得年月・・・・・・・　追加形式でファイルを更新する際に用い、当該不整三角網データが修正された年月、西暦の下2桁及び月で表現（選択項目）(未入力は″0000″)
消去年月・・・・・・・・・・・・・　追加形式でファイルを更新する際に用い、当該不整三角網データが存在しなくなったことが確認された年月、西暦の下2桁及び月で表現（選択項目）(未入力は″0000″)
精度区分・・・・・・・・・・・・・　不整三角網ごとのデータの精度
※不整三角網とは不整形の三角形で地表を表現する方法(TIN)。

数値地形図データファイル仕様

(7) 三次元座標レコード

座　標　値			座　標　値			座　標　値			座　標　値		
X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z
I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7

10　20　30　40　50　60　70　80

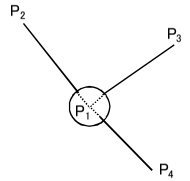
Z値・・・・・・・・・・・・・・・・・座標列の一部に値が存在しない場合は、「m」単位では-999、「cm」単位では-99900、「mm」単位では-999000を与える。

(8) 二次元座標レコード

座標値		座標値		座標値		座標値		座標値		座標値	
X	Y	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y
I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7

10　20　30　40　50　60　70　80

座標値・・・・・・・・・・・・・・・・・ 図郭原点（左下隅）からの測地座標で、要素レコードにあるデータ数と同じ座標数を持つ
線・面・・・・・・・・・・・・・・・・・ 線上の経過点の座標値
点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1点の座標値
円・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 円周上の3点の座標値
円弧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 円弧上の3点の座標値で、円弧の始点、円弧上の任意の点、円弧の終点の順に待つ
方向・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ある点に対する方向を示す場合（例えば電柱）に用いるもので、2つの座標値を組として方向を示す。
最初の座標値がその中心を、次の座標値がその方向を表し、1レコードには、三次元座標レコードでは2組の方向データを持つ。
右の例での方向データは、P_1P_2、P_1P_3、P_1P_4の3組となる（2レコードが必要）



※(7)において直前の要素レコードのデータ数が5以上の場合は、複数レコード連続する。
※(8)において直前の要素レコードのデータ数が7以上の場合は、複数レコード連続する。

数値地形図データファイル仕様

(9)注記レコード

縦横区分	文字列の方向	字大	字隔	線号	注記データ
		(0.1mm)	(0.1mm)		
I1	I7	I5	I5	I2	A64

縦横区分・・・・・・・・・・・・・・・・文字列の並びが縦か横かの区分
0：横書き　　：　公 共 測 量
1：縦書き　　：　公 共 測 量

文字列の方向・・・・・・・・・・・ 注記の表示方向を示す角度。単位は度、範囲は縦書きの場合は－135°～-45°、横書きの場合は-45°～+45°とする。
字大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 字の大きさ　単位は10分の1ミリメートル
字隔・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 字の間隔　　単位は10分の1ミリメートル。全角・半角が混在する場合には、全角を基準とする。
線号・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 字の太さ　　線号の号数を記述する
注記データ・・・・・・・・・・・・・ 漢字又は文字データ(JIS第1及び第2水準)　複数レコードにまたがり、レコードの区切りに全角文字がきた場合には、バイトに分割して格納する。

※　要素レコードのデータ数が、漢字の場合33以上、英数字の場合65以上の場合は、注記レコードが、複数連続する。

(10)属性レコード

属性データ (書式は書式データに従う)

属性データ・・・・・・・・・・・・・ ユーザーが利用する属性データ、書式は要素レコードに記述された「属性データの書式」による。

※　要素レコードのデータ数が2以上の場合、複数レコード連続する。

数値地形図データファイル仕様

(11)グリッドレコード

数値(1)	数値(2)	数値(3)	数値(4)	数値(5)	数値(6)	数値(7)	数値(8)	数値(9)	数値(10)	数値(11)	数値(12)
I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7

10　20　30　40　50　60　70　80

数値・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 各格子点の数値、数値地形モデルのグリッドデータを記述する場合は、座標値の単位に従って記述する。

※ 全グリッドポイントを記述するまで連続する。データは原点(左下)から右上へ、連続して記述する。グリッドポイントが存在しない場合は、「m」単位では-999、「cm」単位では-99900、「mm」単位では-999000を与える。

(12) 不整三角網レコード

座　標　値 (i, 1)			座　標　値 (i, 2)			座　標　値 (i, 3)			座　標　値 (i+1, 1)		
X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z
I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7

10　20　30　40　50　60　70　80

座標値・・・・・・・・・・・・・・・・・ 括弧内に示す順番は、特定の不整三角網レコードの事例である。
三角形は3点の座標値とする。
座標値は不整三角網レコードを満たすよう連続して記録する。
座標値及び三角形の記録する順番は規定しない。

※ (12)において直前の不整三角網レコードの三角形数が2以上の場合は、複数レコード連続する。
※ Z値が存在しない場合は、「m」単位では-999、「cm」単位では-99900、「mm」単位では-999000を与える。

数値地形図データファイル仕様

実データ区分

コード	内　容
0	実データなし（地形表面の高さを計測したもの）
1	実データなし（人工構造物等の地形表面以外の高さを計測したも
2	二次元座標レコード
3	三次元座標レコード（地形表面の高さを計測したもの）
4	注記レコード
5	属性レコード
6	三次元座標レコード（人工構造物等の地形表面以外の高さを計測したもの）

注　記　区　分

コード	内　容
0	区分しない
1	漢字
2	英数カナ文字

精　度　区　分

コード	上　位　桁	下　位　桁
	数　値　化　区　分	地図情報レベル区分
1	基準点測量成果を用いる方法	1～　50
2	TS等を用いた数値実測	～　100
3	数値図化法・他の数値地形図データの利用	～　250
4	既成図数値化（無伸縮図面を使用）＊	～　500
5	既成図数値化（伸縮図面を使用）＊	～　1000
6	航空レーザ測量成果を用いる方法	～　2500
7		～　5000
8		～10000
9	その他	その他

図　形　区　分

コード	内　容	対象となる取得分類項目
0	非　区　分	下記に該当しない全データ
11 12	射影部の上端 射影部の下端	石段等の両端部、崩土、壁岩、滝、人工斜面、被覆等の射影をもつもの
21 22 23	高　欄 橋　脚 親柱	道路橋、鉄道橋
26 27	ガードレール ガードパイプ	道路施設
31 32 33 34 35	中　庭　線 棟　割　線 階　層　線 外　付　階　段 ポーチ・ひさし	建物
46	両側敷地の塀	構囲
47	輸送管（空間）	小物体
51 52	表層面 海水面	数値地形モデル
61 62 63 64	直線 円弧 クロソイド その他の緩和曲線	中心線
71 72 73 74 75 76	石杭 コンクリート 合成樹脂杭 不銹鋼杭 その他の境界標 境界計算点	境界標
81 82	オリジナルデータ グラウンドデータ	
99	表現補助データ	横断歩道・石段等の階段部

データタイプ	レコードタイプ
面	E1
線	E2
円	E3
円弧	E4
点	E5
方向	E6
注記	E7
属性	E8

間　断　区　分

コード	内　容
0	間断しない
1～9	間断する（数値は優先順位）

転　位　区　分

コード	内　容
0	転位しない
1～ 9	座標列の方向に対して右側に転位する
-1～-9	座標列の方向に対して左側に転位する